

基本目標2

安全、安心、快適に暮らせるまち

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業①(地域防災関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	①	① 地域防災力の向上

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るための防災・減災事業を推進するため、防災情報伝達手段の確保や防災訓練などの実施による住民の防災意思の向上を図るとともに、地域防災力の向上を図るため自主防災組織の育成を推進する事業である。	自主防災組織に対して各種助成を行い、また、防災士の資格取得者に対して助成を行うことにより、地域防災力の向上をはかる。	計画額	5,381	0	8,000	7,381	20,762	—	—
			当初予算額	7,704	24,800	36,928	56,534	125,966		
			決算額	105,999	511,700	11,177	81,507	710,383		
H27	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施した。※本事業に関する決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	地域で実践的な防災訓練を実施した自主防災組織に対して助成を行った。また、地域における防災リーダーとなる防災士の資格取得に対して助成とを行い、地域防災力の向上に努めた。	計画額	1,331	0	2,000	1,831	5,162	0.3	0.6
			当初予算額	1,331	0	2,000	1,831	5,162		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28	大規模な災害に備えるため、市民を対象とした訓練や研修会などを開催や、訓練や資機材購入に対する支援。また、未組織地域の解消や活動の活性化を図るため、自主防災組織の広域化を推進、地域での継続的な訓練を支援するため、自主防災力強化事業費補助事業の要綱を改正した。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲。	連合自治会支会を単位として、地域で実践的な防災訓練を継続的に実施できるように制度改正を行い、地域の防災訓練に対して助成を行うなど、地域防災力の向上に努めた。	計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200	0.3	0.6
			当初予算額	1,618	0	2,000	3,975	7,593		
			決算額	6,723	7,000	1,848	22,038	37,609		
H29	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施する。また、地域における防災リーダーとなる防災士を育成するために、市独自の防災士養成講座を開催する。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲。	連合自治会支会を単位として、地域で実践的な防災訓練を継続的に実施できるように支援を行い、新たに3地域において防災訓練を実施した。また、市独自の防災士養成講座を開催し、多数の防災士を養成した。	計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200	0.2	0.5
			当初予算額	1,035	2,000	5,203	24,906	33,144		
			決算額	6,687	504,700	5,668	27,060	544,115		
H30	大規模な災害に備えるため、地域で活動する自主防災組織や各種団体の訓練や資機材購入に対する支援を実施する。		計画額	1,350	0	2,000	1,850	5,200		
			当初予算額	3,720	22,800	27,725	25,822	80,067		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	広域での防災訓練等実施回数	支会単位等の広域化した自主防災組織による防災訓練や防災研修会の実施回数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	7	計画値	8	計画値	9	
					実績値	5	実績値	10	実績値	10	実績値		
活動指標	防災訓練等の実施回数	市主催による防災訓練・防災講演会の実施回数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値	1	実績値	0	実績値		
成果指標	自主防災組織のカバー率	自主防災組織結成行政区内世帯数/住民基本台帳世帯数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	85	計画値	87	計画値	89	計画値	90	
					実績値	82	実績値	84	実績値	84	実績値		
成果指標	自主防災組織による活動実施組織数	防災訓練や研修会等の自主防災活動を実施した組織数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	130	計画値	140	計画値	150	計画値	160	
					実績値	133	実績値	188	実績値	236	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	防災・減災の取組の基本となる「自助」及び「共助」の意識向上のために、地域で防災・減災活動に取り組むために必要な支援を継続して行う。また、地域防災リーダーとなる防災士資格取得支援を継続的に実施するとともに、これまで防災士資格取得支援を行った防災士に対して継続的な防災教育を実施していくことにより、より一層の地域防災力を向上させていく必要があると思われる。						毎年各地で発生する災害を教訓に防災・減災対策は日々変化・更新されている。特にここ1・2年間においては、行政が実施する公助の限界が明らかとなり、市民一人ひとりの「自分と自分の周りの人を守る。」という自助・共助の意識を醸成することが命を救うためには最も重要であるされてきている。そのため、地域の防災リーダーとして活躍が期待される防災士の人員増加策と防災士スキルの維持・向上策を実施するとともに、自主防災組織の強化を図る必要がある。また、人口減、高齢化等により活動ができない自主防災組織や未結成の地域の解消を図るため、支会単位での広域的な自主防災活動を推進する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業②(防災対策関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	②	② 防災対策等の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	総合計画や地域防災計画に基づき、市民の生命・財産を守るための防災減災事業を推進するため、防災情報伝達手段の確保や避難所などの環境整備などのハード・ソフト事業を組み合わせた事業である。※計画・予算・決算額は「災害発生時における体制の整備」「国民保護体制の整備」を含んでいる。	災害から市民の生命及び財産を守るため、災害時の情報伝達手段や災害備蓄品の整備、避難所の環境整備などのハード・ソフト事業の実施等	計画額	59,565	0	103,550	124,240	287,355	—	—
			当初予算額	62,712	645,600	39,861	96,892	845,065		
			決算額	105,999	511,700	11,177	81,507	710,383		
H27	香川県の補助金等を活用し、防災行政無線基本計画の策定や緊急輸送車両、備蓄品を整備するとともに、避難所等の環境整備を図るため太陽光発電システムを利用した非常用電源設備を整備した。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	市民の生命・財産を守るため、地域防災計画を修正するとともに、情報伝達手段の確保や備蓄品、避難所の環境整備を図った。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.8	0.0
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28 具体的取組	地域防災計画の修正を図るとともに、緊急避難場所の環境整備、情報伝達手段としての防災行政無線(同報系)のデジタル化を図る。また、被害想定にある避難者を収容するための避難所・緊急避難場所を確保するため、施設管理者との協議を進める。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	災害時の情報伝達手段である防災行政無線(同報系)のデジタル化工事に着手した。また、緊急避難場所にトイレ及び備蓄倉庫を整備し、避難所等における環境整備を行った。	計画額	3,669	0	270	32,500	36,439	0.7	0.0
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額	6,723	7,000	1,848	22,038	37,609		
H29	香川県の地域防災力総合支援事業費補助金等を活用し、備蓄品の整備や各種計画の策定・修正を実施するとともに、老朽化した防災設備の修繕などを実施する。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲。	同報系防災行政無線のデジタル化工事を実施した。緊急避難場所等に当該施設がどの災害に対応しているか誰が見てもわかるように看板を設置し避難所に備蓄用棚及び備蓄倉庫を設置し、防災施設の環境整備を行った。	計画額	3,669	0	270	32,500	36,439	0.9	0.0
			当初予算額	1,035	2,000	5,203	24,906	33,144		
			決算額	6,687	504,700	5,668	27,060	544,115		
H30	香川県の地域防災力重点分野支援事業補助金等を活用し、備蓄品の整備や避難所における備蓄用棚の整備を進めるとともに、災害時の情報伝達手段である同報系防災行政無線の難聴地域解消のための整備工事実施設計を実施する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額	3,720	22,800	27,725	25,822	80,067		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	避難所指定箇所数	災害時に備え避難所指定できる施設等を増やす。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	11	計画値	12	計画値	13	計画値	14
					実績値	11	実績値	14	実績値	14	実績値	
活動指標	緊急避難場所指定箇所数	災害時に備え緊急避難場所として利用できる施設等を増やす。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	41	計画値	42	計画値	43	計画値	45
					実績値	41	実績値	45	実績値	45	実績値	
成果指標	避難所収容可能人数	指定した避難所の収容可能人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	5,000	計画値	7,000	計画値	7,500	計画値	8,000
					実績値	6,090	実績値	7,120	実績値	7,120	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	25点	5点	23点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
							／25点	5点	／25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	災害時における重要な情報伝達手段である同報系防災行政無線の難聴地域解消を図るため、また、緊急避難場所や避難所における備蓄倉庫の整備や避難誘導看板を整備するなどの対策を講じることで、地域防災力をさらに向上させることができるため。						有線の情報伝達手段では、L2級の巨大災害が発生した際に断線等により使用できない状況に陥るおそれがあることから、最悪の事態にあっても避難行動が早期に行えるよう防災行政無線設備を整備拡充することで、難聴地域の縮小を図り被害を最小に抑えることが重要である。また、発災後においては長期にわたり避難生活を余儀なくされることが想定されるため、必要な食料や資機材等を整備し、避難所生活が2次災害の原因とならないように快適化を図る必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業③(防災訓練関係)
-----	-----------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	③	③ 災害発生時における体制の整備

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	総合計画や地域防災計画に基づき、市民の生命・財産を守るための防災・減災対策を推進するため、職員に対する訓練を実施することにより、発災時の体制の確認や職員の危機管理意識の向上を図る。※計画・予算・決算額は「②防災対策等の推進」の再掲。	風水害・地震・津波など災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画を見直す。	計画額	59,565	0	103,550	124,240	287,355	—	—
			当初予算額	62,712	645,600	39,861	96,892	845,065		
			決算額	105,999	511,700	11,177	81,507	710,383		
H27	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施した。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	前年度の配備人数など問題点を検証し改善した職員配備計画に見直した。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.5	0.2
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	前年度の配備人数など問題点を検証し改善した職員配備計画に見直した。また、昨年度作成したBCPIに関する管理職員を対象とした研修会を開催した。	計画額	3,669	0	270	32,500	36,439	0.5	0.2
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額	6,723	7,000	1,848	22,038	37,609		
H29	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲。	前年度の配備人数など問題点を検証し改善した職員配備計画に見直した。また、行政としての防災に関する研修を全職員を対象として実施した。	計画額	3,669	0	270	32,500	36,439	0.5	0.3
			当初予算額	1,035	2,000	5,203	24,906	33,144		
			決算額	6,687	504,700	5,668	27,060	544,115		
H30	災害発生時の職員体制を適宜見直すとともに、大規模災害に備えた職員研修及び訓練を実施する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額	3,720	22,800	27,725	25,822	80,067		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	職員防災研修回数	配備計画分掌事務内容の研修を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	0	計画値	1	計画値	2	計画値	2
	職員配備計画	災害発生時に迅速に対応できる職員配備計画の作成。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
成果指標	職員防災研修参加人数	研修への参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	0	計画値	15	計画値	30	計画値	50
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	0	実績値	34	実績値	233	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由	風水害や地震、津波等の災害時において迅速かつ適切に対応できるように職員配備計画の問題点を洗い出し、見直しを実施していく必要があるため。また、行政として職員一人ひとりが災害対応業務に対して適切に対応することができるよう、研修等防災・減災教育を継続して実施していく必要があるため。						災害時において、業務継続計画に沿った災害対応業務と通常業務を並行して行うため、平常時から各所属単位で業務体制を構築できるように研修や訓練等を通じて職員の資質向上を図る必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	水防活動支援事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	③	③ 災害発生時における体制の整備

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	15	水防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市地域防災計画及び水防計画に基づき、集中豪雨や台風などの水害及び津波から市民の生命及び財産を守るために活動する事業である。	集中豪雨や台風等の水害及び津波から市民の生命及び財産を守るための活動を行う。	計画額	0	0	0	22,722	22,722	—	—
			当初予算額	0	32,000	6,663	17,219	55,882		
			決算額	0	0	12,851	27,521	40,372		
H27	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備えた。	台風の襲来等による水害から市民の生命及び財産を守るための水防活動を実施した。	計画額	0	0	0	5,622	5,622	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,622	5,622		
			決算額	0	0	0	9,618	9,618		
H28	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。	台風の襲来等による水害から市民の生命及び財産を守るための水防活動を実施した。	計画額	0	0	0	5,700	5,700	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,796	4,796		
			決算額	0	0	0	3,320	3,320		
H29	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。	台風の襲来等による水害から市民の生命及び財産を守るための水防活動を実施した。	計画額	0	0	0	5,700	5,700	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	6,801	6,801		
			決算額	0	0	12,851	14,583	27,434		
H30	台風の襲来等による水害に対応するため、消防団員による危険個所の見回りや救助活動等を支援するとともに、浸水被害を防ぐための仮設ポンプを設置したり避難者の支援及び水防活動に必要な資機材を購入したりする等災害に備える。		計画額	0	0	0	5,700	5,700		
			当初予算額	0	32,000	6,663	0	38,663		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	水防訓練実施回数	水防団による水防活動訓練の実施回数(隔年実施)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	0	計画値	1	計画値	0
					実績値	1	実績値	0	実績値	1	実績値	
成果指標	水防訓練参加人数	水防団による水防活動訓練の参加人数(隔年実施)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	150	計画値	0	計画値	150	計画値	0
					実績値	164	実績値	0	実績値	129	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	5点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
	台風や集中豪雨などの水害から市民の生命や財産を守るための事業であり、今後も計画的に資機材の整備や消防団員の訓練等が必要である。						台風や集中豪雨などの水害から市民の生命財産を守るための事業であり、今後も計画的に資機材等を整備するとともに消防団との連携体制を維持する必要がある。					
	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防操法訓練事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	05	非常備消防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るために活動する「さぬき市消防団」の技術向上を図るため参加する消防操法大会の操法訓練を実施する事業である。	消防動作の基本である操法訓練を行うことにより、団員の消防技術の向上や資質向上を図ることを目的とする。	計画額	0	0	0	14,996	14,996	—	—
			当初予算額	0	0	0	14,077	14,077		
			決算額	244	0	0	10,232	10,476		
H27	さぬき市消防団寒川方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)	寒川方面隊と連携を密にし、常に効率の良い訓練の実施に努めた。	計画額	0	0	0	3,696	3,696	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,696	3,696		
			決算額	0	0	0	3,383	3,383		
H28	具体的取組 さぬき市消防団志度方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月) 訓練場所: さぬき市役所西側駐車場	志度方面隊と連携を密にし、常に効率の良い訓練の実施に努めた。 結果は優良賞であった。	計画額	0	0	0	3,700	3,700	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,509	3,509		
			決算額	0	0	0	3,573	3,573		
H29	さぬき市消防団大川方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)	大川方面隊と連絡を密にし、常に効率の良い訓練の実施に努めた。 結果は優良賞であった。	計画額	0	0	0	3,800	3,800	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,522	3,522		
			決算額	244	0	0	3,276	3,520		
H30	さぬき市消防団津田方面隊の香川県消防操法大会出場に伴う訓練等を通して消防団員の技術向上を図る。 訓練日数: 40日(7~9月)		計画額	0	0	0	3,800	3,800		
			当初予算額	0	0	0	3,350	3,350		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	操法大会出場訓練日数	香川県消防操法大会の訓練を実施した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	40	計画値	40	計画値	40	計画値	40	
					実績値	38	実績値	40	実績値	40	実績値		
成果指標	操法大会出場訓練参加人数	香川県消防操法大会の訓練を実施するにあたり、訓練を円滑に行うため出動人員の確保を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人 (延べ)	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	計画値	1,000	
					実績値	1,054	実績値	1,323	実績値	1,046	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	消防操法大会に出場することによって、消防団員の消防技術の向上と士気高揚が図られるとともに、方面内での連携の強化や方面隊幹部の指揮訓練等にもなることから、今後も事業の継続が必要である。						消防団員の消防技術の向上と士気高揚のために消防操法訓練は有効なものであることから、継続して参加を促す必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防団支援事業
-----	---------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	05	非常備消防費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るために活動する「さぬき市消防団」の活動を支援する事業である。	さぬき市消防団員の活動を支援する。 火災の消火活動や地域での防火活動、団員訓練などを実施するとともに、防火啓発活動を推進する。	計画額	1,047	1,834,600	0	2,652,004	4,487,651	—	—
			当初予算額	4,416	1,168,300	0	2,819,526	3,992,242		
			決算額	1,889	713,300	1,295	2,033,446	2,749,930		
H27	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援するとともに、団員の安全確保のための装備を整備した。	消防団員が安全に活動できるように安全装備品の拡充を図り、安全靴や情報通信機器(トランシーバー)の配備を行った。	計画額	1,047	484,600	0	663,004	1,148,651	0.4	0.0
			当初予算額	1,047	484,600	0	663,004	1,148,651		
			決算額	941	416,300	1,001	644,000	1,062,242		
H28	具体的取組 火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援するとともに、団員の安全確保のための装備を整備する。また、被災地や先進的な取組みを行っている消防団の視察研修を実施し、幹部の意識の向上を図る。	消防団員が安全に活動できるように安全靴や情報通信機器(トランシーバー)等の安全装備品の拡充を図った。また、平成26年に土砂災害のあった広島市を視察し、土砂災害時の消防団員の活動状況等を学んだ。	計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000	0.3	0.0
			当初予算額	0	90,900	0	692,481	783,381		
			決算額	312	49,500	140	685,495	735,447		
H29	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援する。また、大川広域消防本部の運営等に係る経費を負担する。	消防団員が安全に活動できるように安全装備品の拡充を図り、安全靴や情報通信機器(トランシーバー)の配備を行った。	計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000	0.3	0.0
			当初予算額	0	592,800	0	739,907	1,332,707		
			決算額	636	247,500	154	703,951	952,241		
H30	火災の消化活動や地域での防災・防火活動、団員訓練など消防団活動を支援する。また、大川広域消防本部の運営等に係る経費を負担する。		計画額	0	450,000	0	663,000	1,113,000		
			当初予算額	3,369	0	0	724,134	727,503		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	火災予防活動の実施回数	火災件数を減少させるために、火災予防を呼びかける活動を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 4	実績値 4	計画値 4	実績値 4	計画値 4	実績値 4	計画値 4	実績値	
	消防学校入校人数	本市消防団員が香川県消防学校に入校し研修を受ける人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 20	実績値 2	計画値 20	実績値 9	計画値 20	実績値 13	計画値 20	実績値	
成果指標	消防団員数	地域の安全を守るための消防団員を確保する。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 590	実績値 588	計画値 600	実績値 584	計画値 610	実績値 577	計画値 620	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性が明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。災害発災時には日頃からの訓練が現場で生かされることから、継続的に訓練を実施し、消防団員の資質の向上に努めていく必要がある。また、地域の防災力を保つため消防団員の確保に努める。						消防団員の安全装備品の整備や練度に合わせた継続的な訓練の実施などにより、災害時に安全に活動できる消防団とする必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防施設整備事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るための消防施設等の維持管理等を行う事業である。	消防施設及び設備の維持管理に要する経費である。	計画額	0	12,200	0	43,762	55,962	—	—
			当初予算額	0	6,100	2,158	37,219	45,477		
			決算額	555	3,500	1,837	26,942	32,834		
H27	消防資機材や施設、設備の適正な維持管理等を行った。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理、末地区の防火水槽整備等。	今後も引き続き消防施設及び設備の維持管理を適正に実施し、いつ発生するかわからない災害に備える必要がある。	計画額	0	6,100	0	10,762	16,862	0.2	0.0
			当初予算額	0	6,100	0	10,762	16,862		
			決算額	123	3,500	1,163	10,224	15,010		
H28	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理を行う。 ※今年度は寒川第3分団屯所においてエアコン取替え修繕、志度第1分団金屋屯所において天井張替修繕を実施する。	消防団員が安全に活動できるよう、消防施設及び設備の維持管理を適正に実施する必要がある。	計画額	0	6,100	0	11,000	17,100	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	862	8,804	9,666		
			決算額	0	0	184	8,162	8,346		
H29	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理等を行う。	消防団員が安全に活動できるよう、消防施設及び設備の維持管理を適正に実施し、不足の事態に備える必要がある。	計画額	0	0	0	11,000	11,000	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	648	9,329	9,977		
			決算額	432	0	490	8,556	9,478		
H30	消防資料及び施設、設備の適正な維持管理等を行う。主な事業は、消防自動車の車検整備等及び各消防屯所の維持管理等を行う。		計画額	0	0	0	11,000	11,000		
			当初予算額	0	0	648	8,324	8,972		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	消防車等機械器具点検	19分団×月2回×12月で定期的に消防車等の機械器具点検を実施する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	456	計画値	456	計画値	456	計画値	456
					実績値	456	実績値	456	実績値	456	実績値	
成果指標	整備不良による事故件数	整備不良による事故件数0を目指す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性が明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。老朽化の進んでいる消防屯所についても不良箇所が見つければ早急に対応し、不良箇所が拡大しないように注視しながら、消防団員の活動拠点となる施設及び設備の適正な維持管理に努める必要がある。						消防団が活用する資機材を適正に維持管理する必要がある。また、災害時に消防団活動を行う拠点施設となる消防屯所のうち老朽化しているものについては、今後計画的に更新する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防自動車購入事業
-----	-----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民の生命及び財産を守るため、地域の消防力を維持する必要があることから、老朽化した消防自動車を更新、整備する事業である。	老朽化した消防自動車を更新し、配備車両の整備をする。	計画額	2,000	106,500	0	3,790	112,290	—	—
			当初予算額	0	93,600	0	2,292	95,892		
			決算額	0	82,800	0	1,915	84,715		
H27	消防ポンプ車(可搬ポンプ無)1台を更新するとともに水槽車1台を可搬ポンプ付積載車1台に更新した。	消防ポンプ自動車(小田分団)1台、小型動力ポンプ積載車(志度第1分団)1台を更新した。地域性、各分団の要望等を考慮しながらコストの削減に努めた。	計画額	0	27,300	0	990	28,290	0.1	0.0
			当初予算額	0	27,300	0	990	28,290		
			決算額	0	24,600	0	838	25,438		
H28	消防ポンプ車1台及び可搬ポンプ付積載車1台を更新するとともに軽運搬車2台を新たに整備する。 備優先 消防ポンプ自動車: 志度第2分団 可搬ポンプ付積載車: 鴨部分団 軽運搬車: 大川方面隊、寒川方面隊	消防ポンプ自動車1台(志度第2分団)、小型動力ポンプ積載車1台(鴨部分団)を更新し、軽運搬車2台(大川方面隊、寒川方面隊)を新規購入した。地域性、各分団の要望等を考慮しながらコストの削減に努めた。	計画額	2,000	29,700	0	2,300	34,000	0.1	0.0
			当初予算額	0	32,400	0	237	32,637		
			決算額	0	30,400	0	188	30,588		
H29	消防ポンプ車1台及び可搬ポンプ付積載車1台を更新した。 備優先 消防ポンプ自動車: 長尾第2分団 可搬ポンプ付積載車: 津田第1分団	消防ポンプ自動車1台(長尾第2分団)、小型動力ポンプ積載車1台(津田第1分団)を更新した。地域性、各分団の要望等を踏まえながらコストの削減に努めた。	計画額	0	29,700	0	300	30,000	0.1	0.0
			当初予算額	0	28,800	0	196	28,996		
			決算額	0	27,800	0	889	28,689		
H30	消防ポンプ車1台を更新する。 備予定 可搬ポンプ付積載車: 津田第3分団		計画額	0	19,800	0	200	20,000		
			当初予算額	0	5,100	0	869	5,969		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	消防自動車購入	老朽化した消防車両の更新を実施した台数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	2	計画値	4	計画値	2	計画値	1	
					実績値	2	実績値	4	実績値	2	実績値		
成果指標	消防団配備車両老朽化	20年以上経過している車両比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	17	計画値	15	計画値	10	計画値	5	
					実績値	17	実績値	10	実績値	7	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	23点 /25点				
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点				5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点				4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成25年に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」において消防団の重要性が明記され、今後も引き続き消防団の強化を図っていく必要がある。消防団装備についても拡充を図っていく必要があることから、消防車両の計画的な更新に努め、消防力の強化(維持)のためにも継続的に事業を実施していく必要がある。						さぬき市消防団の消防力を維持するため必要な消防車両を適正に維持・更新する必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	消防水利整備事業
-----	----------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	④	④ 消防・救急体制の充実

会計	01	一般会計
款	45	消防費
項	05	消防費
目	10	消防施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市総合計画及び地域防災計画に基づき、市民が安全に安心して暮らせるように、火災から市民の生命や財産を守るため消火栓や防火水槽などの消防水利を整備するとともに適正な維持管理等を行う。	消防水利の確保を図るため、市内の消火栓及び防火水槽を適正に維持管理する。また、格納箱の適正な維持管理も行う。	計画額	0	0	4,000	12,000	16,000	—	—
			当初予算額	0	0	3,240	19,193	22,433		
			決算額	137	0	1,162	12,429	13,728		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 平成28年度の主な事業 ・水道工事に伴う消火栓移設工事:3基 ・下水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 ・新設改良工事:2基 ・格納箱の維持管理	水道工事に伴う消火栓布設替工事:4基、下水道工事に伴う消火栓布設替工事:1基、新設改良工事:2基 消防水利に係る工事を上記のとおり実施した。また、格納箱の適正な維持管理も行った。	計画額	0	0	0	0	0	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	1,080	5,892	6,972		
			決算額	0	0	658	7,411	8,069		
H29	平成29年度の主な事業 ・水道工事に伴う消火栓移設工事:2基 ・水道工事に伴う消火栓新設工事:1基 ・下水道工事に伴う消火栓移設工事:1基 ・撤去・修繕工事:2基 ・格納箱の維持管理	水道工事に伴う消火栓布設替工事:2基 水道工事に伴う消火栓新設工事:1基 下水道工事に伴う消火栓付設替工事:1基、撤去・修繕工事:2基 上記のとおり工事を実施するとともに	計画額	0	0	2,000	6,000	8,000	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	1,080	5,794	6,874		
			決算額	137	0	504	5,018	5,659		
H30	消火栓移設工事及び新設改良工事を実施する。		計画額	0	0	2,000	6,000	8,000		
			当初予算額	0	0	1,080	7,507	8,587		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	消火栓新規整備数	消防水利を確保するために新たに設置した消火栓数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	-	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	-	実績値	0	実績値	1	実績値	
活動指標	防火水槽整備数	消防水利を確保するために新たに設置した防火水槽数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	-	計画値	0	計画値	0	計画値	1
					実績値	-	実績値	0	実績値	0	実績値	
成果指標	消防水利数	市内の消防水利数(消火栓数+公設防火水槽数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	-	計画値	1,283	計画値	1,285	計画値	1,288
					実績値	-	実績値	1,283	実績値	1,283	実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由						理由						
市民の生命財産を守るうえで消防水利の確保は非常に重要である。今後も継続的に事業を実施することで適切な水防水利の確保に努める。						地域の消防力を維持し、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、上水道施設やため池水等の消防水利の確保を一層進めて行く必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防災支援事業④(国民保護計画関係)
-----	-------------------

担当課	総務課危機管理室
-----	----------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	8	(8) 消防・防災体制の充実
主要施策	⑤	⑤ 国民保護体制の整備

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 さぬき市国民保護計画に基づき、有事の事態から市民の生命・財産を守るため、防災情報伝達手段の確保や訓練などを実施するとともに、市民への啓発活動を推進する。※計画・予算・決算額は「②防災対策等の推進」の再掲。	さぬき市国民保護法に基づき、国・県・関係機関等が連携・協力して、迅速・的確に住民の避難や救援などが行うことができるようにする。	計画額	59,565	0	103,550	124,740	287,855	—	—
			当初予算額	62,712	645,600	39,861	96,892	845,065		
			決算額	105,999	511,700	11,177	81,507	710,383		
H27	さぬき市国民保護計画の修正に着手した。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	さぬき市国民保護計画の修正に向け見直しを行った。	計画額	48,558	0	2,740	29,240	80,538	0.1	0.0
			当初予算額	48,558	0	2,740	29,240	80,538		
			決算額	92,589	0	3,661	32,409	128,659		
H28	具体的取組 さぬき市国民保護計画の修正。 全国一斉訓練への参加。 ※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲となっている。	さぬき市国民保護計画の修正に向け見直しを行った。	計画額	3,669	0	270	33,000	36,939	0.1	0.0
			当初予算額	9,399	620,800	4,193	16,924	651,316		
			決算額	6,723	7,000	1,848	22,038	37,609		
H29	さぬき市国民保護計画を適宜修正する。※本事業に関する予算・決算額は「防災支援事業①②③④」の再掲。	さぬき市国民保護計画の修正に向け見直しを行った。	計画額	3,669	0	270	32,500	36,439	0.7	0.0
			当初予算額	1,035	2,000	5,203	24,906	33,144		
			決算額	6,687	504,700	5,668	27,060	544,115		
H30	さぬき市国民保護計画を適宜修正する。		計画額	3,669	0	100,270	30,000	133,939		
			当初予算額	3,720	22,800	27,725	25,822	80,067		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	全国一斉訓練への参加回数	全国一斉訓練への参加回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	2	実績値	2	実績値	2	実績値	
成果指標	全国一斉訓練への参加人数	全国一斉訓練への参加人数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	2	計画値	3	計画値	3	計画値	4
					実績値	2	実績値	3	実績値	3	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由											
	武力攻撃等から市民の身体・生命及び財産を守るために必要な事業であり、今後も継続していく必要がある。						武力攻撃などの有事の際に市民自らが国民保護に関する情報をあらゆるメディアから収集し、自分の身は自分で守るといった意識付けを推進する必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防犯環境整備事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	財源内訳				事業費計	担当職員数(人)	
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
H27 H30	さぬき市防犯灯設置要綱に基づいて、自治会長から申請のあった防犯灯の新設や修繕に対応する。	歩行者の安全性を確保するとともに犯罪の起こりにくい環境の整備を進める事業である。	計画額	0	0	0	91,278	91,278	—	—
			当初予算額	0	0	0	90,345	90,345		
			決算額	0	0	0	64,945	64,945		
H27	○防犯灯修理 ○防犯灯新設	○防犯灯のLED化を進めた。	計画額	0	0	0	22,610	22,610	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,610	22,610		
			決算額	0	0	0	21,373	21,373		
H28	○防犯灯修理 ○防犯灯新設	○防犯灯のLED化を進めた。	計画額	0	0	0	22,610	22,610	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,834	22,834		
			決算額	0	0	0	20,836	20,836		
H29	○防犯灯修理 ○防犯灯新設	○防犯灯のLED化を進めた。	計画額	0	0	0	23,029	23,029	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	22,091	22,091		
			決算額	0	0	0	22,736	22,736		
H30	○防犯灯修理 ○防犯灯新設		計画額	0	0	0	23,029	23,029		
			当初予算額	0	0	0	22,810	22,810		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	防犯灯新設件数	防犯灯を新設した件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	12	実績値	17	実績値	13	実績値		
	防犯灯修繕件数	防犯灯の球交換、器具の取り換え等の修繕を行う件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	600	計画値	600	計画値	600	計画値	600	
					実績値	553	実績値	522	実績値	662	実績値		
成果 指標	刑法犯認知件数	香川県警察本部によって犯罪の発生が認知された件数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	390	計画値	380	計画値	370	計画値	360	
					実績値	252	実績値	214	実績値	176	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
	○蛍光灯の劣化が進み、灯具のLED化の件数が増えているため、防犯灯の修繕と電気料金の予算を調整していく必要がある。						犯罪の発生を抑止し、安全安心に暮らすことのできる生活環境を確保するため、防犯灯を設置する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防犯推進事業
-----	--------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	60	防災諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	警察や市民と一体となって、安全・安心のまちづくりを推進する。	車上狙い、自転車盗、スリ、ひったくり等の街頭犯罪や高齢者を狙った詐欺事件が多発していることから犯罪のない住みよい社会をつくる事業である。	計画額	0	0	0	6,044	6,044	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,888	5,888		
			決算額	0	0	0	4,452	4,452		
H27	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担した。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進した。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施した。	○香川県警察本部から発令される犯罪警戒警報の通知に基づき注意喚起の音声告知放送を行った。 ○犯罪被害未然防止功労者に対して感謝状を贈り、報道を通じて犯罪防止気運を高めた。	計画額	0	0	0	1,511	1,511	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,511	1,511		
			決算額	0	0	0	1,510	1,510		
H28	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。	○香川県警察本部から発令される犯罪警戒警報の通知に基づき注意喚起の音声告知放送を行った。 ○犯罪被害未然防止功労者に対して感謝状を贈り、報道を通じて犯罪防止気運を高めた。	計画額	0	0	0	1,511	1,511	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,511	1,511		
			決算額	0	0	0	1,509	1,509		
H29	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。	○香川県警察本部から発令される犯罪警戒警報の通知に基づき注意喚起の音声告知放送を行った。 ○犯罪被害未然防止功労者に対して感謝状を贈り、報道を通じて犯罪防止気運を高めた。	計画額	0	0	0	1,511	1,511	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,433	1,433		
			決算額	0	0	0	1,433	1,433		
H30	○市防犯協会、県暴力追放運動推進センター、県防犯協会連合会等の活動を支援し、運営経費の一部を負担する。 ○学校安全パトロールや青色パトロールの活動を推進する。 ○万引き防止キャンペーン等啓発活動を実施する。		計画額	0	0	0	1,511	1,511		
			当初予算額	0	0	0	1,433	1,433		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	市広報紙掲載回数	さぬき市広報に防犯に関する記事を掲載した回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	3	実績値	3	実績値	2	実績値		
成果指標	刑法犯認知件数(暦年)	市内における傷害や窃盗等、刑法犯の認知件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる。)。各種啓発活動や環境整備により、犯罪件数が減少すると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	390	計画値	380	計画値	370	計画値	360	
					実績値	252	実績値	214	実績値	176	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	○刑法犯認知件数は減少傾向にあるため、引き続き防犯推進活動を行う。						犯罪の発生を抑止し、安全安心に暮らすことのできる生活環境を確保するため、警察や各種団体と連携し、啓発活動を推進する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	交通安全環境整備事業
-----	------------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	②	②交通安全対策の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	55	交通安全対策費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	交通安全設備(道路反射鏡、防護柵、区画線等)の新設及び修繕を行う。	交通事故等を防止するための交通環境の整備を図る事業である。	計画額	0	0	0	57,970	57,970	—	—
			当初予算額	0	0	0	85,215	85,215	—	—
			決算額	0	0	0	54,326	54,326	—	—
H27	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携	市民等からの設置要望に対し、道路や交通の状況を総合的に勘案し、関係機関と協議して適切な対策を実施するように努めた。	計画額	0	0	0	14,360	14,360	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	14,360	14,360		
			決算額	0	0	0	16,001	16,001		
H28	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携	市民等からの設置要望に対し、道路や交通の状況を総合的に勘案し、関係機関と協議して適切な対策を実施するように努めた。	計画額	0	0	0	14,360	14,360	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	20,105	20,105		
			決算額	0	0	0	19,123	19,123		
H29	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携	市民等からの設置要望に対し、道路や交通の状況を総合的に勘案し、関係機関と協議して適切な対策を実施するように努めた。	計画額	0	0	0	14,625	14,625	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	19,892	19,892		
			決算額	0	0	0	19,202	19,202		
H30	○交通安全設備修理 ○交通安全整備新設 ○交通事故多発箇所の点検に伴う警察や道路管理者等との連携		計画額	0	0	0	14,625	14,625		
			当初予算額	0	0	0	30,858	30,858		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	交通安全施設整備箇所数	道路反射鏡、ガードレール等交通安全施設の新設及び修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120
					実績値	94	実績値	86	実績値	68	実績値	
成果指標	人身事故発生件数	香川県警察本部が公表する市内における交通事故の発生件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	380	計画値	370	計画値	360	計画値	350
					実績値	342	実績値	274	実績値	264	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点	25点	/25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点			5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	○交通事故等を防止するため、交通環境の整備を実施した。市民等からの設置要望に対し、今後も適切な対策を実施するよう努める。						市民が交通事故に遭わず、安全で安心な生活ができるように、関係機関の意見を踏まえて状況を把握し、警察、道路管理者と連携を図り、交通安全施設を整備する。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	交通安全推進事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	②	②交通安全対策の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	55	交通安全対策費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	事業概要	交通指導員による街頭交通指導や交通安全キャンペーン、子どもや高齢者の自転車教室の開催等、各種交通安全活動を行い、交通事故防止を図る。また、高齢者の交通事故抑止策として、65歳以上の運転免許証自主返納者に対して商品券等を交付する支援を行う。	市民に交通ルールの遵守と交通マナーを習慣づけることにより、安全安心なまちづくりを目指す事業である。	計画額	0	0	4,000	29,810	33,810	—	—
				当初予算額	0	0	8,000	29,678	37,678		
				決算額	0	0	7,767	20,391	28,158		
H27	具体的取組	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレト・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業	○さぬき警察署等関係機関と連携し、子供や高齢者を対象とした交通安全教室や交通キャンペーンを実施した。 ○重大な事故発生時は、注意喚起の音声告知放送を行った。	計画額	0	0	1,000	7,154	8,154	0.7	0.0
				当初予算額	0	0	1,000	7,154	8,154		
				決算額	0	0	920	7,019	7,939		
H28	具体的取組	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレト・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業○交通安全啓発のための電光掲示板設置事業に対する助成(長尾交通安全協会)	○さぬき警察署等関係機関と連携し、子供や高齢者を対象とした交通安全教室や交通キャンペーンを実施した。 ○重大な事故発生時は、注意喚起の音声告知放送を行った。	計画額	0	0	1,000	7,514	8,514	0.7	0.0
				当初予算額	0	0	1,000	7,470	8,470		
				決算額	0	0	4,457	6,889	11,346		
H29	具体的取組	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレト・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業	○さぬき警察署等関係機関と連携し、子供や高齢者を対象とした交通安全教室や交通キャンペーンを実施した。 ○重大な事故発生時は、注意喚起の音声告知放送を行った。	計画額	0	0	1,000	7,571	8,571	0.7	0.0
				当初予算額	0	0	2,000	7,463	9,463		
				決算額	0	0	2,390	6,483	8,873		
H30	具体的取組	○交通指導員活動事業○交通安全ポスター募集等事業○交通安全啓発事業(用品配布・キャンペーン・パレト・ちらし)○活動団体等支援(こじかクラブ・母の会・交通安全協会・安全運転管理者協議会)○運転免許証自主返納支援事業		計画額	0	0	1,000	7,571	8,571		
				当初予算額	0	0	4,000	7,591	11,591		
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	交通指導員出動回数	交通教室・交通キャンペーン等に交通指導員が参加する件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	60
					実績値	31	実績値	34	実績値	37	実績値	
成果指標	人身事故発生件数(暦年)	市内における交通人身事故発生件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる) 各種啓発活動や環境整備により、交通事故件数が減少すると考えられる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	380	計画値	370	計画値	360	計画値	350
					実績値	342	実績値	274	実績値	264	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	○人身事故発生件数、死亡事故件数共に減少しており、引き続き警察や各関係団体と連携して交通安全推進に努める。 【死亡事故件数】 平成28年(1~12月) 6件 平成29年(1~12月) 2件 ○さぬき市高齢者運転免許証自主返納等支援事業について、平成30年4月から「運転免許卒業カード」の交付を受けた方も対象になったため、平成30年度の申請状況を考慮しながら今後の方向性を見極める。 平成27年度(4~3月) 98名(予算1,000千円) 平成28年度(4~3月) 141名(予算1,500千円) 平成29年度(4~3月) 239名(予算2,390千円) ※390千円流用 平成30年度(4~5月) 32名(予算4,000千円)					市民が交通事故に遭わず、安全で安心な生活ができるように、警察、各種団体と連携を図り、交通安全対策を実施する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	防疫事業
-----	------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	③	③ 消費者行政の推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	飲食に起因する感染症、食中毒等の危害の防止等に必要活動を行い、公衆衛生の向上及び増進に資する団体に対し補助を行う。	安全で衛生的な食品を提供するため、飲食に起因する感染症、食中毒等の危害の防止等に必要活動を行い、公衆衛生の向上及び増進を図る事業である。	計画額	0	0	0	756	756	—	—
			当初予算額	0	0	0	798	798		
			決算額	0	0	0	586	586		
H27	飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生同業組合)を支援した。	東讃食品衛生協会、香川県飲食業生活衛生同業組合に対して補助金を交付した。	計画額	0	0	0	189	189	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	189	189		
			決算額	0	0	0	189	189		
H28	飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生同業組合)を支援する。	東讃食品衛生協会、香川県飲食業生活衛生同業組合に対して補助金を交付した。	計画額	0	0	0	189	189	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	189	189		
			決算額	0	0	0	188	188		
H29	飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を行う団体(香川県食品衛生協会及び香川県飲食業生活衛生同業組合)を支援する。	東讃食品衛生協会、香川県飲食業生活衛生同業組合に対して補助金を交付した。	計画額	0	0	0	189	189	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	177	177		
			決算額	0	0	0	209	209		
H30	飲食に起因する感染症や食中毒等の危害の防止等の活動を行う団体(香川県食品衛生協会)を支援する。		計画額	0	0	0	189	189		
			当初予算額	0	0	0	243	243		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助金の額	公衆衛生の向上及び増進に資する団体に対する補助金	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	195	計画値	195	計画値	195	計画値	195	
					実績値	195	実績値	188	実績値	177	実績値		
成果指標	食中毒の発生件数	香川県が公表する食中毒の発生件数 食中毒の発生状況(香川県食の安全安心ホームページ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0	
					実績値	2	実績値	1	実績値	1	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
県が発令する食中毒警報等の情報を各種団体と連携し、食中毒発生防止に努める。						香川県や各種団体と連携して、自然生態系の適正な保全や公衆衛生の向上を図るための啓発を行う。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	商工業振興事業②(消費者行政関係)
-----	-------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	9	(9) 生活安全対策の推進
主要施策	③	③ 消費者行政の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 商工業の振興・地域社会の発展と活性化に寄与するため、安心・安全な消費生活に繋がるような情報提供等に努める。	消費者からの相談窓口を開設し、市民の消費生活の安全に寄与する。消費生活の向上を目的に、消費生活問題について研修や講演会等の活動を後押しするため、さぬき市消費者団体連絡協議会に補助金を交付する。	計画額	0	0	0	720	720	—	—
			当初予算額	0	0	0	720	720		
			決算額	0	0	0	540	540		
H27	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等	詐欺が疑われる消費者相談には音声告知放送で市民に注意喚起した。さぬき市消費者団体連絡協議会は、エネルギー問題、地産地消、食品表示等幅広く学び、地域の消費者の見識を広げる活動を行った。	計画額	0	0	0	180	180	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額	0	0	0	180	180		
H28	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等	詐欺が疑われる消費者相談には音声告知放送で市民に注意喚起した。さぬき市消費者団体連絡協議会は、消費生活問題についての情報交換と研究を行い、地域の消費者の見識を広げる啓発活動を行った。	計画額	0	0	0	180	180	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額	0	0	0	180	180		
H29	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等	詐欺が疑われる消費者相談には音声告知放送で市民に注意喚起した。さぬき市消費者団体連絡協議会は、消費生活問題についての情報交換と研究を行い、地域の消費者の見識を広げる啓発活動を行った。	計画額	0	0	0	180	180	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額	0	0	0	180	180		
H30	・消費者相談の窓口業務 ・さぬき市消費者団体連絡協議会への補助金の交付 等	詐欺が疑われる消費者相談には音声告知放送で市民に注意喚起した。さぬき市消費者団体連絡協議会は、消費生活問題についての情報交換と研究を行い、地域の消費者の見識を広げる啓発活動を行った。	計画額	0	0	0	180	180		
			当初予算額	0	0	0	180	180		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	一般消費者啓発活動	市民の消費生活の安全と向上を目指し、さぬき市消費者団体連絡協議会会員が一般消費者に向けてチラシ配布や啓発活動を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値	4	実績値	9	実績値	9	実績値		
活動指標	研修、講習会等参加	市民の消費生活の安全と向上を目指して、研修や講演会に参加することで消費者としての知恵を身につける。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	20	
					実績値	42	実績値	45	実績値	32	実績値		
成果指標	消費者相談件数	窓口、電話、メール等で市内から寄せられた相談の件数を指標とする。被害の防止と発生後に適切な対応を行うため、消費生活センター等と連携し、気軽に相談できる体制をつくるため、件数は増加すると考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30	
					実績値	10	実績値	28	実績値	32	実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	17点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	市内においても詐欺の事案が発生しています。消費者相談窓口は、専門相談員を配置する香川県の消費生活センター等がありますが、市民に一番身近な市役所においても相談を受けることにより、相談者の不安を和らげるとともに、被害の拡大を防ぐために音声告知放送で注意喚起することは、消費生活の安全を確保するために必要と考えます。また、地域の消費者団体である「さぬき市消費者団体連絡協議会」は、消費生活問題について市民への啓発活動を推進しており、これを支援することは市民の消費生活の安全と向上につながると考えます。						市民の消費生活の安全、安心のため、相談窓口の設置と音声告知放送による注意喚起は必要であることから、継続していきたい。また、さぬき市消費者団体連絡協議会の消費生活問題に関する活動は、市民の消費生活の向上と詐欺被害等の防止につながっている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	土木管理事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	①市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	05	土木管理費
目	05	土木総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 県管理の幹線道路、重要河川及び重要港湾の整備を促進し、市内各地へのアクセス向上や災害による被害低減を図るため、県が実施する市域内の県道、河川及び港湾の整備事業に要する経費の一部を関係法令に基づき負担する事業である。また、市道の未登記処理業務を地権者や関係者の要請等により実施する事業である。	県施行事業負担金は、県が実施する市内の県道、河川及び港湾の整備事業に要する経費の一部を関係法令に基づき負担する事業である。また未登記処理業務は、市道内に存する土地の未登記処理を目的とする。	計画額	0	125,900	0	78,947	204,847	—	—
			当初予算額	0	184,600	0	60,240	244,840		
			決算額	0	70,300	158	30,268	100,726		
H27	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務	県施行事業負担金は、事業内容の確認、事業費及び負担金が適正な金額かどうかを県担当者と密に連絡を取りながら、整備推進に努めた。未登記処理は、改良工事、境界確認時に地権者と協議し、処理の促進に努めた。	計画額	0	32,900	0	16,947	49,847	0.8	0.0
			当初予算額	0	32,900	0	16,947	49,847		
			決算額	0	28,100	48	14,371	42,519		
H28	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務	県施行事業負担金は、事業内容の確認、事業費及び負担金が適正な金額かどうかを県担当者と密に連絡を取りながら、整備推進に努めた。未登記処理は、改良工事、境界確認時に地権者と協議し、処理の促進に努めた。	計画額	0	31,000	0	20,000	51,000	0.8	0.0
			当初予算額	0	55,000	0	13,137	68,137		
			決算額	0	18,100	46	7,499	25,645		
H29	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務	県施行事業負担金は、事業内容の確認、事業費及び負担金が適正な金額かどうかを県担当者と密に連絡を取りながら、整備推進に努めた。未登記処理は、改良工事、境界確認時に地権者と協議し、処理の促進に努めた。	計画額	0	31,000	0	21,000	52,000	0.5	0.0
			当初予算額	0	46,700	0	19,485	66,185		
			決算額	0	24,100	64	8,398	32,562		
H30	県施行事業負担金 負担率道路事業1/10河川事業0.5/10港湾事業0.7/10 根拠法令地方財政法第27条第2項道路法第52条第2項 海岸法第28条第2項 未登記処理業務		計画額	0	31,000	0	21,000	52,000		
			当初予算額	0	50,000	0	10,671	60,671		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	対象事業件数	県施行負担金対象事業の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	19	計画値	18	計画値	18	計画値	13
					実績値	17	実績値	13	実績値	14	実績値	
活動指標	未登記相談件数	市道内に存する未登記箇所の相談件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	15	計画値	15	計画値	15	計画値	15
					実績値	19	実績値	19	実績値	15	実績値	
成果指標	市内の県道改良率	市内の県道改良済延長／市内の県道実延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	88	計画値	88	計画値	89	計画値	89
					実績値	88.4	実績値	88.5	実績値	88.5	実績値	
成果指標	未登記処理件数	市道内に存する未登記箇所の処理件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	15	計画値	15	計画値	15	計画値	15
					実績値	19	実績値	19	実績値	15	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		3点	16点 ／25点	3点	17点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	県施行負担金については、法令に基づき負担金を払う必要がある。県施行負担金の支払いにより、市内県道・河川・港湾の整備促進に繋がり、有効である。今後も、県道・河川・港湾要望にあたり、要望順位を整理し、効率的に整備を行えるよう努めていく。 未登記処理については、個人の所有権を侵害している場合があり、早急に処理する必要がある。未登記処理は、市道と民地等の境界が明確になるため、有効である。今後も、過去の経緯等から多くの未登記箇所が存在するため、工事等に併せ効率的に処理を行う必要がある。				県管理の道路・河川・港湾については、何れも市民が日常的に利用している施設であり、施設の新設改良等の整備事業を継続し、安定的に実施するため法令に基づき必要となるものである。 市道として整備済みの道路等において、道路として認識されているが、市有地となっていない施設について、市が実施する道路改良事業等において、未登記部分が確認されたものについて、登記処理を行う必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	05	道路橋梁総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	事業概要	市道敷として借受けている土地の借上料である。また、市内の道路整備を促進するため、広報活動や国等への要望活動等を行うことを目的とする道路関係協会等への負担金である。	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進する。	計画額	0	0	0	3,557	3,557	—	—
				当初予算額	0	0	0	3,644	3,644		
				決算額	0	0	0	2,472	2,472		
H27	土地借上料協会等負担金	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	計画額	0	0	0	869	869	0.1	0.0
				当初予算額	0	0	0	896	896		
				決算額	0	0	0	866	866		
H28	土地借上料協会等負担金	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	計画額	0	0	0	896	896	0.1	0.0
				当初予算額	0	0	0	921	921		
				決算額	0	0	0	804	804		
H29	土地借上料協会等負担金	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	広報活動や国等への要望活動等を行う道路関係協会等に負担金を支払うことで、市内の道路整備を促進した。	計画額	0	0	0	896	896	0.1	0.0
				当初予算額	0	0	0	921	921		
				決算額	0	0	0	802	802		
H30	土地借上料協会等負担金			計画額	0	0	0	896	896		
				当初予算額	0	0	0	906	906		
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	加入団体数	各種団体に加入している件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	団体	計画値	14	計画値	14	計画値	14	計画値	14	
					実績値	14	実績値	14	実績値	14	実績値		
成果指標	市内の県道改良率	市内の県道改良済延長／市内の県道実延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	88	計画値	88	計画値	89	計画値	89	
					実績値	88.4	実績値	88.5	実績値	88.5	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 ／25点	4点	21点 ／25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	団体に加入することで、要望活動等が効率的に行えるため、今後も負担金の支払いは必須と考える。						市道として管理している道路内に含まれる、JR敷地の借上げは、市道の整備上必要なものである。 各団体への加入は、道路・河川・砂防・港湾整備等に関する技術の研究や知識の習得、また国に対する予算要望等の円滑な推進を図るために必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁維持補修事業①(道路関係)
-----	-------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	10	道路橋梁維持費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30 事業概要	市道を常に良好な状態に保ち、安全で快適な通行を確保するため、維持修繕工事等を実施するとともに、新たに市道認定された路線や改良等により幅員が変更になった路線の道路台帳補正業務を実施する。また、私道について、一定の基準を満たす場合、路面改修工事費(舗装・側溝)の一部を助成する私道整備助成事業を新たに実施する。	市道を常に良好な状態に保ち、安全で快適な通行を確保する。	計画額	133,500	83,600	32,370	417,675	667,145	—	—
			当初予算額	114,900	182,700	68,518	413,870	779,988		
			決算額	71,650	47,600	67,128	305,655	492,033		
H27	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=19.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)	募集広報等により、道路愛護協力団体が、前年度より2団体増え、除草延長も2,505m延ばすことができた。	計画額	33,300	20,700	8,070	97,075	159,145	1.5	0.3
			当初予算額	33,300	20,700	8,070	97,075	159,145		
			決算額	8,710	5,400	7,921	92,655	114,686		
H28 具 体的 取 組	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=18.2km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)	募集広報等により、道路愛護協力団体の除草延長を前年度より4,088m延ばすことができた。	計画額	39,000	24,300	8,100	103,800	175,200	1.6	0.3
			当初予算額	42,000	26,300	7,948	109,514	185,762		
			決算額	38,940	24,700	12,544	104,994	181,178		
H29	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=2.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)	市道のパトロールを行い、市道を良好な状態に保ち、安全で快適な通行を確保するよう努めた。	計画額	30,600	19,300	8,100	109,400	167,400	1.5	0.4
			当初予算額	39,600	25,000	44,300	104,680	213,580		
			決算額	24,000	17,500	46,663	108,006	196,169		
H30	道路橋梁修繕事業 除草、崩土除去、舗装補修、道路付属物補修等を行う。 道路愛護協力団体報奨金等 道路台帳補正 L=2.0km 私道整備助成事業 補助金交付対象経費の50%(条件により70%)		計画額	30,600	19,300	8,100	107,400	165,400		
			当初予算額	0	110,700	8,200	102,601	221,501		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	道路維持修繕工事件数	市道維持修繕工事の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	30	計画値	34	計画値	32	計画値	32
					実績値	25	実績値	29	実績値	24	実績値	
活動指標	道路愛護協力団体報奨金制度広報件数	道路愛護協力団体報奨金制度の広報件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	3	実績値	3	実績値	3	実績値	
成果指標	道路愛護協力団体報奨金制度除草延長	道路愛護協力団体報奨金制度による除草延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m	計画値	95,000	計画値	95,500	計画値	95,500	計画値	95,500
					実績値	91,636	実績値	95,724	実績値	94,152	実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	22点 /25点	5点	22点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
市道は、便利な日常生活と活力ある産業活動を支えるために必要な基盤であり、今後増大する道路インフラの老朽化対策については、限られた財政状況の中で、計画的な整備が必要になっている。今後も、市道の修繕工事を計画的かつ効率的に推進するとともに、適正な維持管理に努めて、安全で快適な通行を確保していく。 また、道路愛護協力団体報奨金制度等によって、市民と協働して市道の維持管理を進めていく。						市民が道路を安全に利用できるよう、市道の適正な維持管理を行うために必要な事業であり、今後とも限られた財源の中で、自治会の要望や地域のバランスを考えながら、緊急度・重要度を踏まえ、道路の維持修繕工事を実施するとともに、老朽箇所や不良箇所の早期発見に努め、交通事故を未然に防止するために、事業を実施する必要がある。 また、団地内道路等で市道となっていない、私道について舗装整備等の助成を行うことにより、住環境の整備を促進するものである。 また、管理延長が長く市単独での管理に限界のある市道の草刈について、道路愛護協力団体に協力を頂きながら、市道の維持管理を行うものである。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁新設改良事業(職員給与費除く)
-----	---------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	①市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	15	道路橋梁新設改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
				国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要	交通の安全と円滑化や防災空間を確保し、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図るため、市内幹線道路等の新設改良及び舗装整備を実施する事業である。		計画額	203,480	777,400	0	66,330	1,047,210	—	—
				当初予算額	229,630	908,750	0	78,275	1,216,655		
				決算額	180,713	516,900	0	29,394	727,007		
H27	具体的取組	狭小な道路の拡幅及び退避場整備、急カーブなどの危険箇所の局部改良、公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良、増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行った。		計画額	64,880	216,400	0	13,330	294,610	1.6	0.0
				当初予算額	64,880	216,400	0	13,330	294,610		
				決算額	41,885	136,900	0	8,594	187,379		
H28	具体的取組	狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	59,300	201,100	0	18,400	278,800	1.4	0.0
				当初予算額	53,220	231,850	0	13,800	298,870		
				決算額	31,028	169,500	0	9,309	209,837		
H29	具体的取組	狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	38,000	182,000	0	17,400	237,400	1.4	0.0
				当初予算額	91,310	221,900	0	13,230	326,440		
				決算額	107,800	210,500	0	11,491	329,791		
H30	具体的取組	狭小な道路の拡幅及び退避場整備を行う。急カーブなどの危険箇所の局部改良を行う。公共施設等を結ぶ幹線道路の新設・改良を行う。増加する交通量及び重交通に耐えられる舗装への改良を行う。		計画額	41,300	177,900	0	17,200	236,400		
				当初予算額	20,220	238,600	0	37,915	296,735		
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動 指標	道路改良工事件数	市道改良工事の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	33	計画値	32	計画値	32	計画値	32
					実績値	26	実績値	29	実績値	20	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果 指標	市道における改良率	市道実延長に対する道路改良済延長の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	70.25	計画値	70.34	計画値	70.43	計画値	70.51
					実績値	70.83	実績値	71.38	実績値	71.44	実績値	
	道路における歩道設置率	市道実延長に対する歩道設置済延長の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	4.00	計画値	4.02	計画値	4.02	計画値	4.02
					実績値	4.02	実績値	4.15	実績値	4.15	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	22点 /25点	5点		22点 /25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
市道整備については、市の予算、国や県補助金の配分割合、用地協力等の問題により、着手や完了までに時間を要している箇所もあるのが課題となっている。今後も、幹線道路から身近な生活道路に至るまで、市道路網の整備を計画的かつ効率的に推進するとともに、道路を利用するすべての人が、安全で快適に通行できる交通環境を実現するため、各地域の状況を踏まえて、交通安全施設や歩道の整備も検討していく。						市道整備として、幹線道路については公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図り、生活道路については、車両や歩行者が円滑に移動できるよう狭小な箇所の拡幅や舗装の改修等の道路整備を行うことで、快適な道路環境の整備を目的とし道路の新設・改良事業を行うものであるが、国や県補助金の配分割合が減少するなか、緊急度・重要度を勘案しながら道路の整備を進めて行く必要がある事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	狭あい道路拡幅整備事業
-----	-------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	①	① 市道及び生活道路等の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	15	道路橋梁新設改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 建築基準法に基づく用地の後退等に伴い、狭あい道路であるさぬき市道等の拡幅及び後退用地の整備の申出のあったものに対して、後退用地に係る測量、分筆及び所有権移転登記に要する費用を負担し、舗装等の工事を行い、後退用地を道路として整備する。なお後退用地は寄附としている。	建築基準法上に基づく、後退用地を道路として整備することで住民の安全で快適な生活の確保を目指す。	計画額	0	0	0	18,300	18,300	—	—
			当初予算額	0	0	0	15,165	15,165		
			決算額	0	0	0	1,127	1,127		
H27	申請予定件数4件 狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。	H28年度の申請件数の増加を目指し、広報及び、ホームページに事業の掲載を行い、周知に努めた。	計画額	0	0	0	4,500	4,500	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	4,500	4,500		
			決算額	0	0	0	702	702		
H28	具体的取組 狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。	H29年度の申請件数の増加を目指し、広報及び、ホームページに事業の掲載を行い、周知に努めた。	計画額	0	0	0	4,600	4,600	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,555	3,555		
			決算額	0	0	0	425	425		
H29	狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。	H30年度の申請件数の増加を目指し、広報及び、ホームページに事業の掲載を行い、周知に努めた。	計画額	0	0	0	4,600	4,600	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,555	3,555		
			決算額	0	0	0	0	0		
H30	狭あい道路は、市民にとって通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、災害時の消防、救急活動に支障をきたしている。このような狭あい道路を建築の機会に市民と行政が協力し拡幅整備することにより、安全で快適な災害に強いまちを目指す。		計画額	0	0	0	4,600	4,600		
			当初予算額	0	0	0	3,555	3,555		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	広報回数	狭あい道路整備事業の広報回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値	1	実績値	1	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	実施件数	狭あい道路整備事業の実施件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	2	実績値	1	実績値	0	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	建築基準法に基づく後退用地の整備により、狭小な道が拡幅され、市民の安全で快適な生活に寄与できる事業である。建築基準法上において、建築主事の設置要件が人口25万人以上の市となっており、さぬき市に建築主事がないこと、近年、民間業者の建築確認が増えていることなどが、事業の認知が進んでいない理由の一つである。今後民間業者への周知及び、広報への掲載を行うことで、周知を図っていく必要がある。						住宅の密集地等道路幅員が狭く、歩行者及び車両の通行に支障のある路線について、安全性の向上を図るとともに、災害時の避難や緊急活動など、防災性の向上にも寄与するものであり、地域住民の協力得ることにより、住環境の整備を図る事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道路橋梁維持補修事業②(橋梁関係)
-----	-------------------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	②	② 橋梁の長寿命化

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	10	道路橋梁費
目	10	道路橋梁維持費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	計画額	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 橋梁について、これまでの対症療法的な対応から予防的で計画的な対応で施設の延命化、改築更新費用の平準化を図ることで、道路交通の安全性を確保し、橋梁施設の機能を安定的に確保するよう、5年毎にすべての管理橋梁を点検し、橋梁長寿命化修繕計画の策定を行い、修繕工事を実施する。	道路交通の安全性を確保しながら、コストの縮減を図るため、対症療法的な対応から予防的で計画的な対応で、橋梁の長寿命化を図る事業である。	計画額	175,300	92,200	0	29,000	296,500	—	—
			当初予算額	165,150	83,000	0	36,120	284,270		
			決算額	107,391	49,500	0	29,093	185,984		
H27	道路橋梁修繕事業 橋梁点検、長寿命化修繕工事	橋梁点検において、期間業務職員を雇用し、小規模橋梁を職員自ら点検することによって、委託経費の削減を行った。	計画額	35,900	23,200	0	1,900	61,000	0.4	0.7
			当初予算額	35,900	23,200	0	1,900	61,000		
			決算額	32,655	15,600	0	8,996	57,251		
H28	具体的取組 道路橋梁修繕事業 橋梁点検、橋梁長寿命化修繕計画の策定、長寿命化修繕工事	橋梁点検において、期間業務職員を雇用し、小規模橋梁を職員自ら点検することによって、委託経費の削減を行った。	計画額	51,000	22,800	0	12,200	86,000	0.4	0.7
			当初予算額	45,000	17,100	0	15,170	77,270		
			決算額	35,100	13,400	0	10,100	58,600		
H29	道路橋梁修繕事業 橋梁点検、長寿命化修繕工事	橋梁点検において、期間業務職員を雇用し、小規模橋梁を職員自ら点検することによって、委託経費の削減を行った。	計画額	48,800	23,100	0	10,500	82,400	0.3	0.6
			当初予算額	48,000	19,300	0	13,700	81,000		
			決算額	39,636	20,500	0	9,997	70,133		
H30	道路橋梁修繕事業 橋梁長寿命化修繕計画の策定、長寿命化修繕工事		計画額	39,600	23,100	0	4,400	67,100		
			当初予算額	36,250	23,400	0	5,350	65,000		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	橋梁点検数	直営点検と委託点検を合計した点検橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	橋	計画値	211	計画値	130	計画値	87	計画値	87	
					実績値	218	実績値	161	実績値	117	実績値		
活動指標	修繕橋梁数	橋梁修繕工事において、修繕及び更新を行った橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	橋	計画値	5	計画値	3	計画値	4	計画値	4	
					実績値	1	実績値	2	実績値	5	実績値		
成果指標	健全橋梁割合	橋梁点検において、判定区分Ⅰ及びⅡの橋梁数+修繕橋梁数/点検橋梁数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	98	計画値	98	計画値	99	計画値	99	
					実績値	97.7	実績値	97.6	実績値	97.4	実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)						
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成26年7月から地方自治体が管理するすべての橋梁に対して、5年に1回の近接目視による点検が義務化された。そのため、毎年継続して橋梁点検を実施する必要がある。そして点検結果により、判定区分ⅢやⅣの橋梁が確認されたため、5年以内に対策する必要があり、今後廃止も視野に入れながら、修繕または更新を着実に進めていく必要がある。また、今年度で全橋梁の点検が完了する見込みである。前回点検時からの損傷進行等の把握などにより、落橋や深刻な損傷による事故を未然に防ぎ、安心安全な社会基盤整備を目指す。						市道として管理している515橋について、従来の事後的な壊れてから修繕を行う方式から、予防的に橋梁点検を年次計画により行い、危険箇所を早期に発見し、危険度の高い箇所より修繕工事を実施することにより、橋梁の落下事故等を防止するとともに、橋梁の長寿命化を図ること、トータルコストの削減につなげる事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	河川事業
-----	------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	③	③河川の維持・整備促進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	15	河川費
目	05	河川総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	河川事業 概要 洪水時の氾濫を防止するため、河川の維持修繕工事を実施するほか、台風時などの浸水被害を防止するため、雨水排水ポンプ等の維持管理及び改良工事を実施する事業である。また、治水・利水に大きな役割を果たしている市内3ダムの維持管理に要する経費の一部を決められた率により県へ負担する事業である。	近年多発しているゲリラ豪雨や台風による大雨に備え、河川の維持修繕工事、ポンプ場施設等の修繕、改良及び増設工事を行う事業である。	計画額	0	414,400	25,609	209,101	649,110	—	—
			当初予算額	0	580,200	58,493	219,786	858,479		
			決算額	0	405,400	27,593	155,354	588,347		
H27	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 浦小田雨水排水ポンプ場改良工事、室沖ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/4	老朽化で機能低下しているポンプ場の修繕や能力不足によるポンプの増設工事を行い、適切な機能・能力のポンプ場を整備した。ポンプの運転方法を自家発電機とすることで、維持管理費の節減に努めた。	計画額	0	276,400	17,609	47,101	341,110	1.4	0.0
			当初予算額	0	276,400	17,609	47,101	341,110		
			決算額	0	158,200	12,430	45,670	216,300		
H28	河川事業 具 体的 取 組 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 白方ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/5	老朽化で機能低下しているポンプの更新を行い、適切な機能・能力のポンプ場を整備した。	計画額	0	114,000	6,000	60,000	180,000	1.1	0.0
			当初予算額	0	133,900	7,713	61,429	203,042		
			決算額	0	123,400	7,056	52,856	183,312		
H29	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 新町ポンプ場改良工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/6	老朽化で機能低下しているポンプの更新を行い、適切な機能・能力のポンプ場を整備した。	計画額	0	24,000	2,000	51,000	77,000	1.1	0.0
			当初予算額	0	137,400	7,998	69,596	214,994		
			決算額	0	123,800	8,107	56,828	188,735		
H30	河川事業 護岸修繕工事及び河床整理工事等を行う。 雨水排水ポンプ場事業、既設ポンプ等の維持管理及び修繕工事 ダム管理負担金、負担率人件費1/3その他1/7		計画額	0	0	0	51,000	51,000		
			当初予算額	0	32,500	25,173	41,660	99,333		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	河川維持工事件数	河川の維持修繕工事件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	5	計画値	5	計画値	6
					実績値	5	実績値	3	実績値	5	実績値	
	雨水ポンプ場事業数	雨水排水ポンプの修繕・改修・増設工事数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	事業	計画値	6	計画値	7	計画値	6	計画値	6
					実績値	4	実績値	7	実績値	8	実績値	
成果指標	ポンプ場排水区域での浸水被害件数	河川整備やポンプ場整備が完了した区域での浸水被害件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	河川・ポンプ場施設整備は、豪雨・台風時に住宅への浸水を防ぐ重要な施設である。設置後、数十年経過し、老朽化しているポンプ施設も多く、今後も計画的な投資により、ポンプ場施設等の適正な管理・更新を図り、施設の機能を維持する必要がある。				台風や豪雨に伴う高潮時の河川の氾濫を防止するため、雨水を排出するポンプの整備を計画的に行うと共に、河川の決壊を防止するための維持改良工事の実施、また治水・利水に利用される市内ダムの維持管理経費の一部を負担することで、大雨による住宅地域への浸水を防止し、また河川水を有効に活用するために行う事業である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	港湾管理事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	④	④ 港湾の維持・管理

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	20	港湾費
目	05	港湾管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 瀬戸内海沿岸の環境保全・美化を図るため、港湾施設及び海岸施設の維持管理を実施するほか、港湾の適正な利用を確保するため、小型船舶用泊地の使用許可事務及び使用料徴収事務を県からの権限移譲により実施する事業である。	港湾の適正な利用を確保するため、香川県が作成したマニュアルに基づき、小型船舶の所有者に対し、使用許可及び使用料の徴収を行うものである。	計画額	6,186	0	22,278	668	29,132	—	—
			当初予算額	5,673	0	20,988	982	27,643		
			決算額	4,113	0	15,065	78	19,256		
H27	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務	港湾内において、泊地の巡回を実施し、施設未申請者及び使用料未納者に対して、督促などによる適正な施設使用を則した。	計画額	1,532	0	5,515	111	7,158	0.3	0.0
			当初予算額	1,532	0	5,515	111	7,158		
			決算額	1,340	0	4,888	0	6,228		
H28	具体的取組 緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務	港湾内において、泊地の巡回を実施し、施設未申請者及び使用料未納者に対して、督促などによる適正な施設使用を則した。海岸清掃活動参加についてCATVにより周知した。	計画額	1,550	0	5,555	153	7,258	0.3	0.0
			当初予算額	1,383	0	5,113	245	6,741		
			決算額	1,394	0	5,083	0	6,477		
H29	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務	港湾内において、泊地の巡回を実施し、施設未申請者及び使用料未納者に対して、督促などによる適正な施設使用を則した。海岸清掃活動参加についてCATVにより周知した。	計画額	1,552	0	5,604	202	7,358	0.3	0.0
			当初予算額	1,376	0	5,095	282	6,753		
			決算額	1,379	0	5,094	78	6,551		
H30	緑地施設等管理事業 3施設 海岸清掃事業 リフレッシュ瀬戸内海岸清掃活動 3海岸 香川県港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可事務及び使用料徴収事務		計画額	1,552	0	5,604	202	7,358		
			当初予算額	1,382	0	5,265	344	6,991		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	船舶数	津田港及び志度港に係留しているプレジャーボートの船舶数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	隻	計画値	110	計画値	110	計画値	110	計画値	110
					実績値	101	実績値	110	実績値	103	実績値	
成果指標	収納率	収入金額／調定金額×100	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	100	実績値	100	実績値	100	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	18点 ／25点	3点	18点 ／25点						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点							
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)	1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点							
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点							
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点							
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	瀬戸内海の海岸と海域を美しく保つために、市と地元で毎年行っている海岸清掃活動を、地元住民だけでなく市民全体が参加できるよう、CATV等の啓発活動により幅広く周知し、美化意識向上につながるよう努めていきたい。また、港湾管理については港湾の巡回を実施し、不法係留がないよう未申請者に対して申請指導を行うなど適正な施設管理をしていくこととする。						港湾の適正な利用を確保するため、小型船舶用泊地の使用許可事務及び使用料徴収事務を県からの権限移譲により実施する事業である。 また瀬戸内の海岸の環境保全のため行う、海岸清掃は市民によるボランティア活動として毎年実施している事業である。 何れの事業も海岸や港湾施設の保全を行うために必要な事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	港湾建設事業
-----	--------

担当課	建設課
-----	-----

記入日	平成30年6月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	④	④ 港湾の維持・管理

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	20	港湾費
目	10	港湾建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 県が策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、さぬき市が管理する志度港の地震・津波対策整備事業を実施するものである。	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、さぬき市が管理する志度港において地震津波対策整備をすることで市民の生命と財産を守る。	計画額	133,300	114,100	0	4,800	252,200	—	—
			当初予算額	133,300	114,100	0	4,800	252,200		
			決算額	47,230	44,800	1,207	1,225	94,462		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 測量試験及び地質調査 志度港全体延長 L=420m	翌年度工事にむけて、地質調査等を実施し、志度港の整備に努めた。	計画額	79,200	61,500	0	3,300	144,000	0.4	0.0
			当初予算額	79,200	61,500	0	3,300	144,000		
			決算額	23,924	22,700	0	1,224	47,848		
H29	港湾建設事業 主な工事内容 ①既設海岸堤防等の嵩上 ②海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設 ③海岸堤防等基礎部の地盤改良	胸壁、陸ごうの工事に着手し、志度港の整備に努めた。	計画額	27,050	25,600	0	1,450	54,100	0.4	0.0
			当初予算額	27,050	25,600	0	1,450	54,100		
			決算額	23,306	22,100	1,207	1	46,614		
H30	港湾建設事業 主な工事内容 ①既設海岸堤防等の嵩上 ②海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設 ③海岸堤防等基礎部の地盤改良		計画額	27,050	27,000	0	50	54,100		
			当初予算額	27,050	27,000	0	50	54,100		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	整備延長	海岸堤防等の嵩上、海岸堤防等基礎部の鋼矢板打設・地盤改良	<input type="checkbox"/> 総合計画	m	計画値	-	計画値	0	計画値	140	計画値	140	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	-	実績値	0	実績値	247	実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	整備率	完成した延長/整備の必要な延長×100	<input type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	-	計画値	0	計画値	100	計画値	100	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	-	実績値	0	実績値	47	実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	20点 /25点	4点	20点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
香川県が策定した「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」により地震津波対策の優先順位が定められており、さぬき市が管理する志度港は、I期(前期・後期)に整備するようになっている。28年度には地質調査等を実施し、その結果に基づいて計画的に地震津波対策の整備を実施していく必要がある。						香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画が策定され、対策の必要な優先順位が定められたことから、さぬき市の管理港湾施設である志度港の堤防等について、平成28年度には詳細設計や地質調査を行った。平成29年度からは地震・津波対策工事を実施することにより、市民の生命、財産等に及ぼす被害を低減するために実施する事業である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	生活環境整備事業
-----	----------

担当課	管財課
-----	-----

記入日	平成30年6月11日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	10	(10) 道路等の社会基盤の整備
主要施策	⑤	⑤生活環境整備事業の継続

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	65	地方振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 自治会からの要望により、市民の生活環境向上を図るための生活道路・排水路等の整備工事を行う。	市民の生活環境向上を図るための整備工事を行う事業である。	計画額	0	0	0	80,400	80,400	—	—
			当初予算額	0	0	0	95,100	95,100		
			決算額	0	0	0	65,457	65,457		
H27	○工事の実施設計業務の委託(5件) ○整備工事(23件) (うち、舗装整備工事(16件)、安全施設整備工事(2件)、水路整備工事(3件)、その他修繕工事(2件))	工事箇所の施工開始時期を早め、早期竣工を目指した。	計画額	0	0	0	20,100	20,100	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	20,100	20,100		
			決算額	0	0	0	19,704	19,704		
H28	工事の実施設計業務の委託(4件) 整備工事の発注件数 舗装工事 10件 土木工事 8件 その他修繕工事 1件	地元要望に対して早期完成に向けた工法検討並びに工事費削減に努めた。	計画額	0	0	0	20,100	20,100	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	30,000	30,000		
			決算額	0	0	0	27,343	27,343		
H29	工事の実施設計業務の委託(5件) 整備工事の発注件数 舗装工事 9件	地元要望に対して早期完成に向けた工法検討並びに工事費削減に努めた。	計画額	0	0	0	20,100	20,100	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	25,000	25,000		
			決算額	0	0	0	18,410	18,410		
H30	工事の実施設計業務の委託 整備工事を予定		計画額	0	0	0	20,100	20,100		
			当初予算額	0	0	0	20,000	20,000		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	要望を受け、現地確認回数	要望を受け、現地確認をした回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	22	計画値	20	計画値	20	計画値	20
					実績値	22	実績値	10	実績値	9	実績値	
成果指標	実施件数	実施可能であると回答した要望の内、実施した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	40	計画値	37	計画値	20	計画値	20
					実績値	23	実績値	19	実績値	9	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由						理由						
本事業は法定外財産の整備であり、他事業での採択が困難であるものを実施し、市民の生活環境の向上を目的としている。よって、この事業は必要なものである。						本事業は平成17年度より国から譲与を受けた法定外公共物を地元自治会より要望を受け、地域住民の方々が生ずるうえで安全に、また、住みよい環境を整える目的で行っている事業である。 最近においては、当該事業の存在が市民に広まったこともあり、要望件数も多くなってきていることから、今後、他事業に属さない案件かどうか精査し本来の目的に沿って事業を実施したい。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	コミュニティバス事業
-----	------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	①	① 誰もが利用し得る利便性の高い公共交通手段の提供

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	65	地方振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)	
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 交通不便地域の解消はもとより、市民の安全で快適な暮らしのための身近な交通手段として、地域密着型公共交通システムの提供を行う。市内交通事業者と連携し、現在5ルート(バス3ルート、ジャンボタクシー2ルート)を運行している。	高齢者を始めとする交通弱者に安全で快適な公共交通の提供。市内観光客の交通の軸として魅力ある路線の創造。また、より便利で身近な公共交通を目指し、利用者の要望に沿った路線開拓を実施する。	計画額	30,400	0	52,606	161,250	244,256	—	—
			当初予算額	29,700	0	52,788	168,149	250,637		
			決算額	22,528	0	39,590	124,977	187,095		
H27	さぬき市コミュニティバスの運行及び施設の維持管理等を実施した。 ※平成24年2月にダイヤ改正及び運行車両等の見直しを実施。また、同年4月より、志度～多和線において休日運賃の改定(200円→500円)を行うなど、経営の効率化及び収支改善等を図っている。	さぬき市コミュニティバスの運行及びバス停施設等の維持管理を行った。また、利用促進を目的とした広報・啓発活動を実施した。 ・広報紙を利用した利用促進 年2回	計画額	7,600	0	13,606	41,250	62,456	0.6	0.0
			当初予算額	7,600	0	13,606	41,250	62,456		
			決算額	7,706	0	13,723	40,750	62,179		
H28	具体的取組 ○市内のバス事業者1社及びタクシー事業者6社に委託し、5ルートのコミュニティバスを運行するとともに、156か所のバス停施設の維持管理を行った。	広報・啓発として、バスブックを配布するほか、市広報に関連記事を2回掲載した。 利用環境向上のため、バス車両1台をツーステップバスからワンステップバスに切り替えた。	計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600	0.5	0.0
			当初予算額	7,600	0	13,600	41,400	62,600		
			決算額	7,650	0	13,572	41,170	62,392		
H29	○市内のバス事業者1社及びタクシー事業者5社に委託し、5ルートのコミュニティバスを運行するとともに、156か所のバス停施設の維持管理を行った。	さぬき市コミュニティバスの運行及びバス停施設等の維持管理を行った。 広報・啓発として、市広報に年末年始の利用を促進するための記事を1回掲載した。	計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600	0.5	0.0
			当初予算額	7,600	0	13,020	42,361	62,981		
			決算額	7,172	0	12,295	43,057	62,524		
H30	○市内のバス事業者及びタクシー事業者に委託し、5ルートのコミュニティバスを運行するとともに、156か所のバス停施設の維持管理を行う。 ○鉄道や路線バス等の公共交通機関との接続や利便性の向上に向けて、ルート・ダイヤ編成の検討を行う。		計画額	7,600	0	13,000	40,000	60,600		
			当初予算額	6,900	0	12,562	43,138	62,600		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	利用促進啓発回数	コミュニティバスの利用促進に向けた広報紙への掲載回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	2	実績値	2	実績値	1	実績値		
成果指標	コミュニティバス 利用者数 コミュニティバス収支比率	コミュニティバス年間利用者数 コミュニティバス運行に係る収入と経費の比率 ((バス使用料+運行協力金+広告収入)/事業費)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人 %	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000	
					実績値	93,541	実績値	89,279	実績値	85,352	実績値		
					計画値	30	計画値	30	計画値	30	計画値	30	
					実績値	22.0	実績値	21.8	実績値	19.7	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		2点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	高齢化が進む中、運転免許証を返納してもお出かけに困らない生活環境をつくることは市の責務として大変重要だと考えるが、コミュニティバス利用者は減り続け、収支率も下がっている。人口減少に伴う利用者減も想定されるが、住民や事業所ニーズに答えられていない結果とも考えられるため、大川自動車・琴平電気鉄道・JR四国・タクシー事業者等と連携し、各種データを収集しながら、コミュニティバスの運行見直しに取り組んでいく。						市民の暮らしを支え、安心して快適なまちづくりのための公共交通のひとつとして、コミュニティバスは必要な手段である。 しかし、平成29年度においては、利用者の減少から運賃収入も減収となった。そのような状況から、今後の運行再編計画を作成するにあたり、各ルートにおけるバス停ごとの乗降客等のデータ収集を行い、更に利便性を向上するための検討が必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	バスストップ駐車場管理事業
-----	---------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 高松自動車道高速志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理等を行う。	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に維持管理を行う。 なお、平成25年度においては、バスストップ駐車場の利用者等を対象とした利用実態調査等を実施し、拡充について検討する。	計画額	0	0	1,120	85,510	86,630	—	—
			当初予算額	22,660	169,500	12,861	17,916	222,937		
			決算額	0	52,200	16,878	9,377	78,455		
H27	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を実施した。 平成25年度に策定した志度バスストップ駐車場における整備計画(案)に基づき、駐車場整備の基本計画策定業務を実施した。	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に維持管理を行った。 志度バスストップ駐車場の拡充検討として、全体測量業務を実施した。	計画額	0	0	280	2,908	3,188	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	280	2,908	3,188		
			決算額	0	0	267	2,261	2,528		
H28	具体的取組 バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行っている。 志度バスストップ駐車場整備基本計画により用地を取得した。 また、津田バスストップ駐車場における整備計画(案)に基づき、駐車場整備の基本計画策定業務を実施。	志度バスストップ駐車場は、2回にわたり地元自治会と協議を行い、事業の了承を得るとともに用地を取得した。 津田バスストップでは、関係者と協議を行い整備計画を策定した。	計画額	0	0	280	80,202	80,482	0.2	0.0
			当初予算額	0	75,000	280	5,202	80,482		
			決算額	0	32,100	273	5,363	37,736		
H29	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行った。 志度バスストップは、駐車場の増設が完成した。 津田バスストップは、駐車場の新設に向け、全体測量設計を実施しているが、全体測量設計、用地購入、建物補償について、平成30年度に繰り越した。	志度バスストップ駐車場は、臨時駐車場を第2駐車場として整備し、駐車台数を50台から75台に拡充した。 津田バスストップでは、関係者と協議会を設置し、事業の進め方を協議した。	計画額	0	0	280	1,200	1,480	0.2	0.0
			当初予算額	0	78,900	12,031	5,621	96,552		
			決算額	0	20,100	16,338	1,753	38,191		
H30	バスストップ利用者の利便性の確保・維持を目的に、志度・津田バスストップ用駐車場の維持管理を行う。		計画額	0	0	280	1,200	1,480		
			当初予算額	22,660	15,600	270	4,185	42,715		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	施設点検回数	利用者が安心して駐車場を利用できるように点検、清掃、草刈りの回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 24	実績値 24	計画値 24	実績値 24	計画値 24	実績値 24	計画値 24	実績値 24	
	放置自転車の撤去実施回数	バスストップに放置してある自転車の撤去実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値 2	
成果指標	志度バスストップ駐車場利用率	志度バスストップの駐車場(50台:臨時駐車場25台含む)の利用率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 90	実績値 90	計画値 90	実績値 90	計画値 90	実績値 90	計画値 90	実績値 90	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	志度バスストップについては、臨時駐車場を第2駐車場として整備したことにより、合計駐車台数が50台から75台に拡充された。今後は、利用者だけでなく、近隣の交通安全等も含め、安心して利用ができるよう点検や維持管理をしていく。 また、津田の松原SA下り側の津田バスストップ駐車場については、6台分しか駐車スペースがないため、50台程度の拡充を目指し、地元水利組合、国土交通省、NEXCO、SA等関係者と協議をし、利用しやすい駐車場を整備する。						志度バスストップについては、臨時駐車場を第2駐車場として整備したことにより、合計駐車台数が50台から75台に拡充されたことで志度地区における駐車場不足は解消した。 今後は、津田の松原SA下り側の津田バスストップ駐車場について、30年度に用地購入及び整備工事を行い、利用しやすい駐車場を整備する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	JR駅関連施設管理事業
-----	-------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月12日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 JRの駅は、広域交通網におけるさぬき市の玄関口のひとつであり、特に志度駅はJRと維持管理協定を締結している。通勤・通学・通院などに利用する市民及び当市に来訪する観光客が快適かつ安全に利用できるように施設の維持管理等を行う。	JRの駅は、通勤・通学等に多くの市民が移動手段として利用しているため、駅利用者の利便性の確保・維持を目的に管理する事業である。	計画額	0	0	2,989	16,763	19,752	—	—
			当初予算額	0	0	1,887	26,822	28,709		
			決算額	0	0	646	13,005	13,651		
H27	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(自由通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR志度駅エレベーター内の防犯カメラシステム修繕	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に施設の清掃を行う。 旧観光案内所を民間企業に貸与した。	計画額	0	0	886	4,115	5,001	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	886	4,115	5,001		
			決算額	0	0	194	4,540	4,734		
H28	具体的取組 駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行った。 ・JR志度駅(自由通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に施設の清掃を行う。 志度駅の自由通路に平賀源内をイメージした町屋風の装飾をした。(政策課)	計画額	0	0	331	4,048	4,379	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	331	4,048	4,379		
			決算額	0	0	230	4,346	4,576		
H29	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(自由通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場等) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場) ・JR神前駅(駐輪場)	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に施設の清掃を行う。 JR神前駅の駐輪場対策として、民間駐車場の土地を一部借上げた。	計画額	0	0	886	4,300	5,186	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	331	4,574	4,905		
			決算額	0	0	222	4,119	4,341		
H30	駅利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の管理を行う。 ・JR志度駅(自由通路、エレベーター、トイレ・周辺駐輪場) ・JR志度駅南駐車場19区画平成21年7月供用開始 ・JR造田駅(駐輪場)		計画額	0	0	886	4,300	5,186		
			当初予算額	0	0	339	14,085	14,424		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	志度駅清掃回数	利用者が安心して快適に利用できるよう駅周辺及びトイレ等の清掃回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	365	計画値	365	計画値	365	計画値	365	
	放置自転車撤去回数	利用環境の維持・向上を目的に、放置自転車等の撤去実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
成果指標	JR・琴電志度駅利用者数	JR志度駅及び琴電志度駅の1日当たりの利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	3,200	計画値	3,200	計画値	3,200	計画値	3,200	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	駅周辺の環境を良くするため、JR利用者の駐輪場やトイレ、ロータリーの整備をする必要がある。JRが駅舎等をコンパクトにする中、利用者の利便性の維持をしていく。 JR志度駅南駐車場管理運営業務の指定管理者基本協定の指定期間が平成31年3月31日までとなっているため、平成31年度以降の指定管理者を募集し、利用者の利便性向上及び地域の道路交通の円滑化を図る。						本市でのJR駅は、志度・オレンジタウン・造田・神前・津田・鶴羽と6駅あるものの、志度駅以外は無人駅となっている。また、(株)JR四国においても各駅舎の老朽化に伴い順次建物の改築やトイレの廃止を行っており、駅や駅周辺の環境が変化している。 その中で、平成29年度では、造田駅の駅舎のみが改築されたことから、駅舎以外の整備が早急に望まれていたところであり、当該年度においては、造田駅周辺整備基本計画の策定にとどまったことから、平成30年度から3か年の計画で整備を行う。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	パーク・アンド・ライド駐車場管理事業
-----	--------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	11	(11) 公共交通網の充実
主要施策	②	② 公共交通利用促進対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	<p>パーク・アンド・ライド駐車場は、鉄道を利用して通勤・通学をする住民の利便性を確保するとともに、公共交通機関の利用促進・交通混雑の緩和・環境負荷の軽減を目的としている。津田中央駐車場は、近辺が地理的要因から駐車場確保が困難であり、近隣住民の駐車場需要の充足と付近での迷惑駐車削減を目的としている。これらの施設の維持管理を行う。</p>	<p>駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的にパーク・アンドライド駐車場及び津田町中央駐車場の維持管理を行う。</p>	計画額	0	0	1,073	550	1,623	—	—
			当初予算額	0	0	1,734	0	1,734		
			決算額	0	0	1,351	0	1,351		
H27	<p>駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 101台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台</p>	<p>平成27年度パーク・アンド・ライド利用台数は延39台、津田町中央駐車場の利用区画数は延40区画であった。年3回追加募集を、年1回新規募集を広報紙、ホームページ及び文字放送で広報・周知をした。</p>	計画額	0	0	265	0	265	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	265	0	265		
			決算額	0	0	251	0	251		
H28	<p>駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行った。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 101台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台</p>	<p>平成28年度パーク・アンド・ライド利用台数は延40台、津田町中央駐車場の利用区画数は延37区画であった。年3回追加募集を、年2回新規募集を広報紙、ホームページ及び文字放送で広報・周知をした。</p>	計画額	0	0	265	550	815	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	265	0	265		
			決算額	0	0	247	0	247		
H29	<p>駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、パーク・アンド・ライド及び津田町中央駐車場の維持管理を行った。 ○パーク・アンド・ライド駐車場については、開設後14年を経過し、区画線の劣化が見られるため、駐車スペース区画線の塗替え及び補修を行った。</p>	<p>パーク・アンド・ライド駐車場の1区画の幅を2.2mから2.8mに広げ、駐車時の安全と利便性を確保した。また、契約者以外の無断駐車が多いとの苦情に応え、「無断駐車禁止」の看板を設置した。</p>	計画額	0	0	265	0	265	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	926	0	926		
			決算額	0	0	853	0	853		
H30	<p>駐車場利用者の利便性の確保・維持を目的に、以下の施設の維持管理を行う。 ○パーク・アンド・ライド駐車場(さぬき市志度字田中5385番地6) 平成15年4月供用開始 駐車可能台数 84台 ○津田中央駐車場(さぬき市津田町津田字南上所1010番地10の一部) 駐車可能台数 73台</p>		計画額	0	0	278	0	278		
			当初予算額	0	0	278	0	278		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	駐車場利用向上のための 周知回数	利用者数の向上を図るため、ホームページ等での周知回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	4	計画値	4	計画値	4	計画値	4
					実績値	4	実績値	4	実績値	4	実績値	
成果指標	駐車場の利用率	駐車場施設の総区画数における使用許可・契約数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	台	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50
					実績値	39	実績値	40	実績値	29	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点	4点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点				4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点				4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点				4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	利用率の向上のため、広報誌、ホームページ及び文字放送を活用し、またチラシ等を公共交通機関の掲示板等に掲載する。 津田町中央駐車場については、区画ナンバーがはがれて見えにくい状態であるため、他事業と併用して、塗替えを行う。				利用率を向上させるため、広報紙、ホームページ及び文字放送を活用し、わかりやすく広報・周知を行う。 平成29年度では、志度パーク・アンドライドの区画線の塗り替えを行うとともに、津田中央駐車場では区画ナンバーを塗り替えたことで利用者の利便性を向上した。 今後も、志度・津田の両駐車場の利用促進について公共交通機関とも連携して周知を行う。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	民間住宅耐震対策支援事業
-----	--------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国及び県の補助制度に基づき、既存住宅の耐震対策を実施する市民に対し補助金交付するものである。 市内にある、新耐震基準以前(S56.5.31)に建てられた民間住宅の耐震対策(耐震診断、改修工事等)を実施する所有者に、費用の一部を補助する。	地震に対する既存住宅の耐震性の向上を図り、市民の安全を確保することを目的とする。	計画額	33,932	0	0	12,868	46,800	—	—
			当初予算額	28,991	0	0	10,909	39,900		
			決算額	7,576	0	0	2,728	10,304		
H27	耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:事業費限度額1,800千円補助金限度額900千円 次年度にむけて、耐震改修工事:補助率の廃止(補助上限金額900千円)及び補助対象工事の追加(部分改修工事、耐震シェルター等設置工事)を行った。	耐震対策の推進にむけて、国及び県の方針を踏まえ、補助内容の拡充を行った。	計画額	8,483	0	0	3,217	11,700	0.3	0.0
			当初予算額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			決算額	3,133	0	0	1,097	4,230		
H28	具体的取組 補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行う。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円	補助対象工事の追加及び補助対象経費における補助率を廃止する改正を行った。	計画額	8,483	0	0	3,217	11,700	0.2	0.0
			当初予算額	9,008	0	0	3,392	12,400		
			決算額	2,898	0	0	1,059	3,957		
H29	補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行った。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円	耐震対策関係アンケート調査と耐震診断補助制度のPRを行うため、津村・三井・金屋・江の口近辺の旧耐震基準住宅の個別訪問を行った。平成30年度では、旧耐震基準住宅を事前に調査し、効率よく戸別訪問を行う。	計画額	8,483	0	0	3,217	11,700	0.1	0.0
			当初予算額	5,750	0	0	2,150	7,900		
			決算額	1,545	0	0	572	2,117		
H30	補助申請期間中の書類審査及び交付金支給事務を行う。 耐震診断:事業費限度額130千円補助金限度額90千円 耐震改修:補助金限度額900千円 部分耐震改修:補助金限度額500千円 耐震シェルター等設置:補助金限度額200千円		計画額	8,483	0	0	3,217	11,700		
			当初予算額	5,750	0	0	2,150	7,900		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助制度周知啓発事業数	さぬき市及びさぬき市内で開催される啓発事業数 (広報活動、個別訪問活動、相談会開催活動)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	3	実績値	2	実績値	2	実績値		
成果指標	民間住宅耐震対策支援補助金補助件数 (耐震診断)	耐震対策のうち、耐震診断調査にかかる補助金支給件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	50	計画値	50	計画値	50	計画値	50	
					実績値	9	実績値	14	実績値	8	実績値		
成果指標	民間住宅耐震対策支援補助金補助件数 (耐震対策工事)	耐震対策のうち、耐震対策工事(耐震改修工事、部分耐震改修工事・耐震シェルター・ベッド)にかかる補助金支給件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	8	計画値	8	計画値	8	計画値	8	
					実績値	4	実績値	3	実績値	2	実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本事業は、地震に対する既存住宅の耐震性の向上を図り、市民の安全を確保することを目的としているが、住宅耐震性能に関する住民の関心度合いや、改修工事に必要な自己資金の確保など、所有者の様々な要因により、必ずしも活動指標が、直接的に成果につながっていない現状がある。 今後は、拡充された補助項目をもとに、戸別訪問、広報誌などによる周知と、過去に耐震診断を実施した申請者に対し、低コスト工法等のダイレクトメールを送付することにより、耐震改修の啓発に努めながら、耐震化率を向上させる。						市民が安全で安心して生活していくために既存住宅の耐震は必要であるが、耐震に関する関心や改修工事に必要な自己資金の確保から、直接的な成果につながっていないため、引き続き制度の目的・趣旨を説明・周知を行う。さらに、拡充された項目も含め耐震改修の必要性について啓発に努める。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	緊急輸送道路沿道建築物等耐震対策支援事業
-----	----------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① ① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保するため、緊急輸送道路沿道及び避難路沿道の建築物の耐震対策を実施する者に対し、国及び県の補助制度に基づき補助金を交付する。	地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保する。	計画額	15,736	0	0	5,248	20,984	—	—
			当初予算額	16,211	0	0	5,532	21,743		
			決算額	5,891	0	0	2,527	8,418		
H27	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助した。	国費及び県費の補助拡充に基づき、補助限度額算定基準を改定し、補助に向けた準備を整えた。	計画額	3,934	0	0	1,312	5,246	0.1	0.0
			当初予算額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助した。	国費及び県費の補助拡充に基づき、補助限度額算定基準を改定した。	計画額	3,934	0	0	1,312	5,246	0.2	0.0
			当初予算額	5,318	0	0	1,774	7,092		
			決算額	1,137	0	0	488	1,625		
H29	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助した。	避難路沿道については、建築物が地震によって倒壊した場合において、その敷地に接する道路の通行を妨げ、相当数のものの円滑な避難を困難とすることを防止した。	計画額	3,934	0	0	1,312	5,246	0.1	0.0
			当初予算額	4,512	0	0	1,504	6,016		
			決算額	4,754	0	0	2,039	6,793		
H30	緊急輸送道路沿道にある旧耐震基準建築物の耐震対策事業に対して、国及び県の補助制度に基づき必要な費用(耐震診断費用・補強設計費用・耐震改修工事費用)を補助する。		計画額	3,934	0	0	1,312	5,246		
			当初予算額	2,447	0	0	942	3,389		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	補助制度周知啓発事業数	さぬき市及びさぬき市内で開催される啓発事業数 (広報活動、個別訪問活動、)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値	1	実績値	1	実績値		
成果指標	緊急輸送道路沿道建築物 等耐震対策支援事業補助 件数	耐震対策(診断・設計・改修工事)にかかる補助金支 給件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	2	
					実績値	0	実績値	1	実績値	2	実績値		
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本事業は、地震時および災害復旧時における、緊急輸送道路の閉塞回避、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送等の機能を確保するための施策の一つである。 避難路沿道建築物(要安全確認計画記載建築物)の耐震診断については、耐震改修促進法により、耐震診断の結果を所管行政庁に報告することが義務化され、補助率も10/10となっている。このことから、当該建築物の所有者の戸別訪問を実施し、補助制度の活用をPRすることにより、耐震対策の推進を図る。						地震発生時における建築物の倒壊による緊急輸送道路の閉塞を防ぎ、避難や救急救援活動、緊急物資の輸送などを確保するため、該当建築物の所有者に対し、戸別訪問を実施し、補助制度の目的・趣旨を説明する。 また、国・県に対し制度の拡充・継続を要望する。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅リフォーム支援事業(一般住宅関係)
-----	---------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 住宅リフォーム支援事業については、市民の生活環境の向上及び定住促進、地域経済対策として市内産業の活性化を図るために、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事を自己以外の市内事業者の施工により行う者に対し、その支援を行うためさぬき市共通商品券を交付する。	市民の生活環境の向上と定住促進及び地域経済の活性化を図るため、自己以外の市内の施工業者を利用して、個人住宅の修繕、補修、増築などのリフォームを行った者に対して、さぬき市共通商品券を交付する。	計画額	8,000	0	0	66,240	74,240	—	—
			当初予算額	9,150	0	0	69,330	78,480		
			決算額	24,345	0	0	40,388	64,733		
H27	平成24年度から実施している、市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事に加えて、市内の空き家を購入し、工事完了後に住民登録し居住する者も対象とし、当該住宅のリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付した。 ※事業費再掲、26繰越予算2500万円	募集期間を2週間で年2回行っているが、期間が短いとの要望があり、2週間から1か月と延長した。	計画額	2,000	0	0	2,060	4,060	0.7	0.0
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	21,970	0	0	0	21,970		
H28	具体的取組 市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事に加えて、市内の空き家を購入し、工事完了後に住民登録し居住する者も対象とし、当該住宅のリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付した。	申請日から交付決定日までの期間の短縮要望があり、4月1日から受付を随時とし、予算に達した時点で受付を終了した。	計画額	2,000	0	0	22,060	24,060	0.4	0.0
			当初予算額	2,000	0	0	22,060	24,060		
			決算額	200	0	0	20,308	20,508		
H29	市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付した。	平成29年度までの時限事業であったが、利用者アンケートの回答や事業実績による経済効果等を検証した結果、その効果を継続するため、更に3年間延長することとした。	計画額	2,000	0	0	22,060	24,060	0.5	0.0
			当初予算額	2,750	0	0	22,810	25,560		
			決算額	2,175	0	0	20,080	22,255		
H30	市内において自ら所有し自己の居住に供する住宅に係るリフォーム工事費に対し、さぬき市共通商品券を交付する。		計画額	2,000	0	0	20,060	22,060		
			当初予算額	4,400	0	0	24,460	28,860		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	住宅リフォーム補助件数	住宅リフォーム支援事業補助金交付決定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	130	計画値	130	計画値	130	計画値	130
					実績値	152	実績値	137	実績値	111	実績値	
成果指標	リフォーム支援制度による 経済効果	商品券交付によって誘発された経済効果の額 (工事総額-交付した共通商品券の交付額)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	円	計画値	225,000,000	計画値	180,000,000	計画値	180,000,000	計画値	180,000,000
					実績値	258,537,283	実績値	235,453,804	実績値	215,261,045	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点		21点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
平成24年度から平成29年度までの支援事業の総工事額は、約16.3億円で商品券交付額は1億2526万2千円で、約13倍の経済効果があったと推測される。申請者及び市内施工業者のアンケート結果からも定住促進や市内の経済効果につながるとの回答が多かったことから、その効果を持続させるために、平成29年度までの事業を平成30年度から更に3年間延長することとした。						平成24年度から平成26年度までの時限措置であったが、利用者や業者へのアンケートを検証した結果、更に3年間制度を延長し、平成29年度が最終年となっていたが、過去5年間のアンケート結果を検証した結果、市民の定住につながることや経済効果を考慮し、平成30年度から更に3年間の延長することとした。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅管理事業
-----	--------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月7日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	①	① 良好な住環境の提供と支援

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	30	住宅費
目	05	住宅管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 住宅に困窮する低所得者に対して、健康で文化的な生活を営むことができる住宅を整備することにより、生活の安定と社会福祉の増進のため、市営住宅を適正に管理する。	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。	計画額	63,957	0	61,707	103,719	229,383	—	—
			当初予算額	108,817	13,800	79,584	124,851	327,052		
			決算額	56,042	0	56,865	101,528	214,435		
H27	○市営住宅の管理については、必要に応じて修繕を行い、適正に管理し、老朽化の激しい空き家住宅について除却した。 ○安全で安心して生活ができるよう、「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、鶺部団地の外壁改修工事のほか、上辛立団地4戸、公文明団地6戸の老朽化対策工事及び仁兵谷団地の法面等工事を実施した。	老朽化により問題のある市営住宅を5戸除却し、老朽化等による修繕を実施した。また、鶺部団地の外壁改修工事、上辛立団地老朽化対策工事及び仁兵谷団地の法面等工事を実施した。	計画額	22,057	0	19,807	28,019	69,883	2.2	0.0
			当初予算額	22,057	0	19,807	28,019	69,883		
			決算額	16,624	0	18,748	27,414	62,786		
H28	○全団地において、老朽化その他の原因による修繕を必要に応じて実施するほか、適正に維持管理を行った。 ○「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、鶺部団地(C棟)・神前団地(A棟)の外壁改修工事及び改良住宅新町団地(蓮住寺側)の耐震補強・外壁改修工事を実施した。さらに、吉見団地4戸を除却した。	退去時の修繕に関し、複数件数を一括して発注するなど、効率的で経済的な維持管理を行った。 国庫補助金の要望額に対する配分額の減少の影響により、長寿命化計画に遅れが生じている。	計画額	15,500	0	15,500	23,300	54,300	2.1	0.0
			当初予算額	46,478	0	21,326	50,547	118,351		
			決算額	20,866	0	19,452	40,220	80,538		
H29	○全団地において、老朽化その他の原因による修繕を必要に応じて実施するなど、適正な維持管理に努めた。 ○「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、神前団地(B・C棟)の外壁改修工事及び改良住宅新町団地(国道側)の耐震補強・外壁改修工事を実施した。さらに、耐用年数を経過し、老朽化の著しい小岩団地4戸を除却した。	国の交付金を年度途中で追加要望したことにより、当初配分時には見送ることとした神前団地C棟の大規模改修を実施することができ、予定どおりの取組ができた。	計画額	13,500	0	13,500	20,500	47,500	2.0	0.0
			当初予算額	26,770	0	20,021	34,602	81,393		
			決算額	18,552	0	18,665	33,894	71,111		
H30	○全団地において、老朽化その他の原因による修繕を必要に応じて実施するなど、適正な維持管理に努める。 ○「さぬき市市営住宅長寿命化計画」に基づき、神前団地(D・E棟、集会所)の外壁改修工事を実施する。さらに、耐用年数を経過し、老朽化の著しい西内間団地6戸を除却する。		計画額	12,900	0	12,900	31,900	57,700		
			当初予算額	13,512	13,800	18,430	11,683	57,425		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	市営住宅の除却数	老朽化が進み安全性に問題がある市営住宅の除却数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	戸	計画値	5	計画値	2	計画値	4	計画値	6	
					実績値	5	実績値	4	実績値	4	実績値		
	修繕件数	市営住宅の主体構造部及び附属設備の修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	200	計画値	200	計画値	200	計画値	200	
					実績値	229	実績値	206	実績値	162	実績値		
成果指標	市営住宅の除却対象件数	安心で安全な生活を充実させるための住宅環境及び周辺環境の整備における除却対象件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	35	計画値	33	計画値	29	計画値	26	
					実績値	35	実績値	31	実績値	27	実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	多くの団地において老朽化が進み、耐震性能も含め、管理が困難になっている中、さぬき市市営住宅長寿命化計画に基づき、引き続き計画的に、外壁改修工事等の長寿命化型改善や、老朽危険住戸の除却を行う。 また、居住者の意向を確認した上で、住替えの手法や、空家や除却後の空き地の管理経費の軽減に向けた検討を進める。 また、市営住宅の本来的な性質上、低所得者が多いことから、家賃等が滞納になった場合、その回収は容易ではないが、債権管理室の協力も得ながら更なる対策を講じる。						民間賃貸住宅や一戸建て住宅の増加から、市営住宅の需要が減少し、空き室が増加している状況であるため、入居者の意向を確認した上で、木造住宅等からの住み替えの検討を進め、老朽化が進んでいる住宅を除却し、適正に管理できる維持管理戸数とする。 平成29年度では、国庫補助金の要望額に対する配分額が減少により、さぬき市市営住宅長寿命化計画の進捗に遅れが生じていたが、年度途中で追加要望により当初の予定通り改修工事を実施することができた。 しかしながら、今後も同様に国庫補助金の要望に対し満額の配分がない場合、当該計画の遅れが生じる可能性がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	老朽危険空き家対策事業
-----	-------------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	②空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	市内の老朽危険空き家(住宅)を所有者が除却する際、除却費用の一部を補助する。	市民の身体、財産、生活環境を保護するために、空家の適切な管理を行う事業である。	計画額	24,000	0	0	8,000	32,000		
			当初予算額	36,000	0	0	12,000	48,000	—	—
			決算額	21,372	0	0	7,130	28,502		
H27	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付	老朽危険空き家除却支援事業補助金の応募者に対して審査を行い、適正に補助金を交付した。	計画額	6,000	0	0	2,000	8,000	0.3	0.0
			当初予算額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			決算額	4,117	0	0	1,374	5,491		
H28	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付(5戸)	老朽危険空き家除却支援事業補助金の交付5戸分について適正に実施した。	計画額	6,000	0	0	2,000	8,000	0.3	0.0
			当初予算額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			決算額	5,278	0	0	1,761	7,039		
H29	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付	老朽危険空き家除却支援事業補助金の交付11戸分について適正に実施した。	計画額	6,000	0	0	2,000	8,000	0.3	0.0
			当初予算額	12,000	0	0	4,000	16,000		
			決算額	11,977	0	0	3,995	15,972		
H30	○空き家に関する相談・適正管理の指導 ○老朽危険空き家の審査 ○老朽危険空き家除却支援補助金の交付		計画額	6,000	0	0	2,000	8,000		
			当初予算額	12,000	0	0	4,000	16,000		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	当該年度の老朽危険空き家除却件数	前年度末現在の老朽危険空き家支援事業補助金を活用して除却した空き家の件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	5	計画値	5	計画値	10	計画値	10
					実績値	4	実績値	5	実績値	11	実績値	
成果指標	空き家の除却の進捗率	当該年度までの老朽危険空き家除却件数の累計／2,620件(平成25年住宅・土地統計調査における「空家」「その他の住宅」の件数。小数点以下切り上げ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	0.2	計画値	0.3	計画値	0.7	計画値	1.1
					実績値	0.2	実績値	0.3	実績値	0.8	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 ／25点	5点	25点 ／25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点				
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	○空き家の放置による雑草の繁茂、瓦等の落下、動物の往来、倒壊の危険性の相談が多くなっている。所有者の特定、現況の調査、改善通知を行い、適正な管理を促す。 ○老朽危険空き家除却補助金の活用を周知し、空き家の除却を促進する。					適切な管理が行われていない空き家に対して、市は、全庁的な取り組みを行うため、空き家対策プロジェクトチームを設置して、役割分担に応じた対応を行っている。本課は、市民の総合窓口となっていることから、市民からの情報を空き家対策プロジェクトチームと共有する。また、適切な管理を啓発するとともに、老朽危険空き家の除却を推進する						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	住宅リフォーム支援事業(空き家バンク登録住宅関係)
-----	---------------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	②空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	住宅リフォーム支援事業(空き家バンク登録住宅)については、平成27年度から移住・定住、地域経済対策として市内の産業の活性化及び雇用の創出を図るため、空き家バンクを通じて購入した市内の空き家を、市内に事業所を有する事業者を利用してリフォームを行う者に、さぬき市共通商品券を交付する補助制度を新たに開始する。	本市への移住・定住の促進と地域経済活性化を目的に市内の事業者を利用して、空き家バンクを通じて購入した空家のリフォームを行う者にその経費の一部を補助する。	計画額	8,750	0	0	68,990	77,740	—	—
			当初予算額	11,150	0	0	71,390	82,540		
			決算額	2,575	0	0	40,823	43,398		
H27	平成27年度から空き家バンク登録物件へのリフォーム工事に係る補助制度を新たに開始し、市外から市内へ移住・定住するために登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付した。	移住・定住促進と地域経済活性化を目的に、空き家バンクを通じて市内の空き家を購入し、リフォーム工を行った者に対して、さぬき市共通商品券を交付した。	計画額	2,000	0	0	2,060	4,060	0.1	0.0
			当初予算額	2,000	0	0	2,060	4,060		
			決算額	200	0	0	435	635		
H28	市外から市内へ移住・定住する目的で、空き家バンク登録物件を購入した者が市内の事業者を利用して、リフォーム工事を実施する費用に対し、さぬき市共通商品券を交付した。	移住・定住促進と地域経済活性化を目的に、空き家バンクを通じて市内の空き家を購入し、リフォーム工を行った者に対して、さぬき市共通商品券を交付した。	計画額	2,000	0	0	22,060	24,060	0.1	0.0
			当初予算額	2,000	0	0	22,060	24,060		
			決算額	200	0	0	20,308	20,508		
H29	空き家の有効活用と市内への移住・定住を促進するため、市内事業者を利用して①空き家のリフォームと②家財道具の処分をする場合、事業費の1/2(①上限100万円、②上限10万円)を補助した。 対象となる住宅: 空き家バンク登録住宅 補助対象者: 空き家の所有者又は空き家の利用者	空き家の有効活用と市内への移住定住促進を図るため、新たに空き家リフォーム支援事業補助金交付要綱を制定し、補助内容(補助対象者、補助額、対象工事)を充実させた。	計画額	2,000	0	0	22,060	24,060	0.1	0.0
			当初予算額	2,750	0	0	22,810	25,560		
			決算額	2,175	0	0	20,080	22,255		
H30	空き家の有効活用と市内への移住・定住を促進するため、市内事業者を利用して①空き家のリフォームと②家財道具の処分をする場合、事業費の1/2(①上限100万円、②上限10万円)を補助する。 対象となる住宅: 空き家バンク登録住宅 補助対象者: 空き家の所有者又は空き家の利用者		計画額	2,750	0	0	22,810	25,560		
			当初予算額	4,400	0	0	24,460	28,860		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	空き家リフォーム補助件数	住宅リフォーム支援補助金のうち空き家バンク掲載物件のリフォーム補助金の交付決定件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	3	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値	1	実績値		実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
成果指標	空き家リフォーム支援制度による経済効果	商品券又は交付によって誘発された経済効果の額 (工事総額－商品券交付額又は補助金交付額)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	円	計画値	6,000,000	計画値	10,000,000	計画値	10,000,000	計画値	10,000,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	6,423,000	実績値	2,612,552	実績値	8,500,433	実績値		
				<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値	
				<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
	今後も増えつつある空き家を有効活用するために、補助制度のPRを広報誌や文字放送だけにとどまらず、全日本不動産協会や宅地建物取引業協会を通じて県内全域の不動産業者に空き家リフォームのリーフレットの配布を依頼することで、広く制度の周知を行う。						市内の空き家を調査し、空き家を有効活用するとともに市への移住・交流を促進させ地域を活性化させるため、空き家バンクへの登録を推進し、補助額を平成29年度から拡充した。また、空き家バンク登録物件を増やすため、全日本不動産協会や宅地建物取引業協会などにリーフレットを配布し、幅広く制度の周知を図る。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	空き家等対策事業
-----	----------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月7日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	②	②空き家対策の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等対策計画の策定、空き家等実態調査の実施、空き家対策協議会の設立運営等、空き家対策に必要な取組を講じる。	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、市内の空家等の有効活用及び危険な空家の削減を主な目的とする。	計画額	3,500	0	0	3,712	7,212	—	—
			当初予算額	3,500	0	0	3,712	7,212		
			決算額	2,543	0	0	3,060	5,603		
H27	※平成28年度新規事業		計画額	0	0	0	0	0	-	-
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	具体的取組 ・市内全域47,791件を対象に、空家等実態調査を実施し、1,338件の老朽度・危険度を判定した。 ・実態調査の結果を受け、空家等対策協議会を開催し、空家等対策計画について検討した。	空家等実態調査は、住宅調査にノウハウを持つ住宅地図を作製する民間事業者に委託して実施した。	計画額	3,500	0	0	3,580	7,080	0.1	0.0
			当初予算額	3,500	0	0	3,580	7,080		
			決算額	2,543	0	0	3,048	5,591		
H29	・空家等対策協議会を開催し、さぬき市空家等対策計画を策定した。 ・空家等対策計画に基づき、危険度の高い空家等に対し、注意喚起、情報提供を行った。	8月にさぬき市空家等対策計画を策定した。 H28年度に実施した実態調査の結果がD・E判定の者に、結果の通知及び適正管理の周知を行った。	計画額	0	0	0	82	82	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	82	82		
			決算額	0	0	0	12	12		
H30	・空家等対策計画に基づき、空家等に対して必要な措置を行う。		計画額	0	0	0	50	50		
			当初予算額	0	0	0	50	50		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	空家等実態追跡調査回数	空家等実態調査成果資料である、空家台帳の情報更新を職員の目視、近隣住民からの情報提供により調査した回数		回	計画値	-	計画値	5	計画値	5	計画値	5
	空家等に対する措置件数	空家台帳に記載される空家に対して、個別に実施した措置件数(実数更新、除却、改修・再利用)		件	計画値	-	計画値	2,600	計画値	5	計画値	5
成果指標	空き家台帳に記載された空き家の数。	空き家台帳に記載された空き家の数		件	計画値	-	計画値	2,600	計画値	2,600	計画値	2,600
					実績値	-	実績値	1,385	実績値	1,377	実績値	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	17点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由				除却情報の更新や除却実績等の反映方法など空き家等実績調査結果データの共有体制に工夫が必要。 さぬき市空家等対策計画やH28年度に実施した実態調査の結果がD・E判定の者に、結果の通知及び適正管理の周知を行った。 また、特定空家の指定や措置について、空家等対策協議会で審議し、法に基づき適正な措置を行う。								

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	都市計画策定事業 都市計画総務事業
-----	-------------------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	③	③都市計画の推進

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	05	都市計画総務費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	都市計画関連の法律に基づく土地利用計画の具体的方策を検討する。	都市の健全な発展と秩序ある整備を目的として、都市計画道路、都市計画区域や用途地域等の分野において、総合的観点から土地利用計画推進施策を実施する。	計画額	408	0	1,614	2,294	4,316	—	—	
			当初予算額	381	0	1,608	7,366				9,355
			決算額	270	0	769	6,762				7,801
H27	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	都市計画の決定や見直しをするための都市計画審議会の開催の外、他団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	計画額	102	0	402	-100	404	0.2	0.0	
			当初予算額	102	0	402	-100				404
			決算額	106	0	181	0				287
H28	都市計画の決定や見直しをするための研究として、国及び県の主催する協議会への参加、他公共団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	都市計画の決定や見直しをするための都市計画審議会の開催の外、他団体の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。	計画額	102	0	404	902	1,408	0.2	0.0	
			当初予算額	49	0	402	370				821
			決算額	50	0	366	307				723
H29	H32年度末の次期さぬき市都市計画マスタープランの策定に向けて、現計画の見直しや新たな計画の決定を行う準備として、国・県が主催する協議会への参加を通して情報交換を図るほか、他市町村の事例研究、資料収集を行う。次期プラン策定に当たって必要となる作業等の洗い出しを行う。	国・県が開催する協議会や研修会に積極的に参加するなどして、他地域の事例研究、資料収集及び情報交換を図った。そのほか、建築確認申請、開発許可申請や土地利用規制等対策に係る	計画額	102	0	404	590	1,096	0.5	0.0	
			当初予算額	118	0	402	6,745				7,265
			決算額	114	0	222	6,455				6,791
H30	H32年度末の次期さぬき市都市計画マスタープランの策定に向けて、現計画の見直しや新たな計画の決定を行う準備として、国・県が主催する協議会への参加を通して情報交換を図るほか、他市町村の事例研究、資料収集を行う。次期プラン策定に当たっての工程を確認する。		計画額	102	0	404	902	1,408			
			当初予算額	112	0	402	351				865
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	都市計画行政に係る都市計画決定(変更)のための審議会開催件数	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数(随時)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	
成果指標	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数	都市計画の決定・変更のための審議会の開催件数(随時)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	3点	5点	21点 /25点	
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	さぬき市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針を定めたものであり、さぬき市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本理念や都市空間の将来像、まちづくりの方針などを示している。引き続き、現行都市計画マスタープランに基づき事業を推進するとともに、都市計画の進行管理を行う。 また、都市づくりの目標年次とする平成32年度を目前に控えた「さぬき市都市計画マスタープラン」に関し、最近の社会情勢を考慮した次期計画の策定に向けた具体的な準備に取り組む。						都市計画における決定・変更がある場合は、都市計画審議会を随時開催し、審議を行う。 また、都市計画マスタープランについては、平成32年度を目標に次期計画の策定に向け具体的な準備に取り組む。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	都市公園管理事業
-----	----------

担当課	都市計画課
-----	-------

記入日	平成30年6月15日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	Ⅱ	Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	12	(12) 住環境の整備と都市計画の推進
主要施策	④	④市民に親しまれる公園・緑地の整備充実

会計	01	一般会計
款	40	土木費
項	25	都市計画費
目	20	都市公園管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市民が文化的・健康的な生活を営むため、市内38カ所の都市公園及び新開公園、真珠島公園、臨海緑地、せせらぎの道等を適正に維持管理する。	市民が文化的・健康的な生活を営み、公共の福祉の増進に資するため、市内38カ所の都市公園及び新開公園、真珠島公園、臨海緑地、せせらぎの道等を適正に維持管理する。	計画額	0	0	32	15,512	15,544	—	—
			当初予算額	0	0	2,497	17,355	19,852		
			決算額	0	0	2,308	15,073	17,381		
H27	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 平成26年度から実施している安全点検により不具合のあった遊具の再塗装を継続して実施したほか、オレンジタウン4号公園に設置されている遊具の修繕を行った。	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 街区公園遊具の塗装及び不具合のあった遊具の修繕を実施した。	計画額	0	0	8	5,010	5,018	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	8	5,010	5,018		
			決算額	0	0	8	5,596	5,604		
H28	具体的取組 市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 オレンジタウンの法面や金屋2号公園の遊具の修理を行い、金屋4号公園では安全対策施設として、車両進入防護柵やフェンスの設置をした。	草刈等の維持管理や公園遊具の修繕や安全対策を講じた。	計画額	0	0	8	3,502	3,510	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	8	3,502	3,510		
			決算額	0	0	8	5,280	5,288		
H29	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図った。 三井第1号公園、オレンジタウン第4号公園の遊具の修理、志度南ニュータウン2号公園、3号公園にある遊具の撤去を行った。 間川三十二勝探勝公園の駐車場の舗装工事を行った。	草刈等の維持管理や公園遊具の修繕や安全対策を講じた。 遊具の修繕、撤去や駐車場の舗装工事を行った。	計画額	0	0	8	3,500	3,508	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	2,473	4,323	6,796		
			決算額	0	0	2,292	4,197	6,489		
H30	市内の都市公園を適正に管理するため遊具等の公園施設の安全確保を図る。		計画額	0	0	8	3,500	3,508		
			当初予算額	0	0	8	4,520	4,528		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	維持管理のための草刈、 清掃件数	市民が安全・快適に利用するための草刈、清掃件数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	37	計画値	38	計画値	38	計画値	38
					実績値	37	実績値	38	実績値	38	実績値	
活動指標	遊具等の安全点検回数	遊具等の老朽化に伴い、安全点検及び現況調査の回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	13	計画値	13	計画値	13	計画値	13
					実績値	13	実績値	13	実績値	13	実績値	
成果指標	公園・広場で発生した事故 件数	公園・広場で発生した事故件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	公園	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	0	実績値	0	実績値	0	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	17点 /25点	4点		16点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		2点		2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	都市公園については、住環境の整備の観点から、常時維持管理できていることが望ましい。公園のある地元自治会等に、草刈や清掃といった維持管理をお願いしているが、自治会員の高齢化も重なって、常時維持管理ができていないという状態になっている。また、大きく育った樹木の伐採や危険な法面の草刈りについては、行政での管理が必要であるが、作業区域が広いことや作業が危険なことから、管理ができていない。このことから、維持管理について、特に危険な樹木の伐採や、法面の作業については、業者に依頼することが必要である。						都市公園の維持管理については、地元自治会等との協議により草刈・清掃などの日常管理をお願いしているが、樹木等の成長により、剪定・伐採が難しくなった高木は市で行っている。また、平成29年度までは、遊具等の事故が起これないように、市職員により点検パトロールを実施してきたが、遊具の安全基準等があいまいなことから平成30年度では、専門業者へ委託することとした。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	火葬場管理事業
-----	---------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月1日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	13	(13) 墓地・斎場の整備
主要施策	①	① 犯罪のないまちづくりの推進

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市斎場は、指定管理者に委託して運営する。また、しずかの里は、三木・長尾葬斎組合が運営する。	人生終焉の場にふさわしい尊厳と品位を有し、遺族にやすらぎと憩を提供できる斎場の運営・管理を行う事業である。	計画額	0	0	52,904	254,634	307,538		
			当初予算額	0	0	56,122	248,283	304,405	—	—
			決算額	0	0	45,152	180,559	225,711		
H27	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援	施設の経年劣化に伴い、修繕等の必要な措置を行った。	計画額	0	0	13,904	59,634	73,538	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	13,904	59,634	73,538		
			決算額	0	0	14,281	58,465	72,746		
H28	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援	施設の経年劣化に伴い、修繕等の必要な措置を行った。	計画額	0	0	13,000	65,500	78,500	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	14,752	63,393	78,145		
			決算額	0	0	14,508	63,059	77,567		
H29	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援	施設の経年劣化に伴い、修繕等の必要な措置を行った。	計画額	0	0	13,000	67,800	80,800	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	13,738	62,542	76,280		
			決算額	0	0	16,363	59,035	75,398		
H30	○火葬受付システムの維持管理 ○さぬき市斎場の運営 ○三木・長尾葬斎組合(しずかの里)の運営支援		計画額	0	0	13,000	61,700	74,700		
			当初予算額	0	0	13,728	62,714	76,442		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	さぬき市斎場の年間火葬件数	さぬき市斎場の年間火葬件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	530	計画値	540	計画値	550	計画値	560
					実績値	529	実績値	483	実績値	524	実績値	
成果指標	斎場施設利用に関する苦情件数	施設利用中に生じた困難事案(快適に利用できなかった内容等)に係る意見数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0
					実績値	1	実績値	0	実績値	0	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5	5 点	25 点	5 点	5 点	25 点	/25点
						必要性低い ⇒ 必要性高い						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5						
						なっていない ⇒ なっている						
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5						
					優先度低い ⇒ 優先度高い							
4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5							
					余地がある ⇒ 余地はない							
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5							
					必要がある ⇒ 必要はない							
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
○安らぎのある環境づくりに努め、さぬき市斎場及びびすずかの里の適切な管理運営を行う。 ○設備の修繕計画を作成し、特定年に経費が集中しないように分散し、必要な改修を進める。						人の尊厳とやすらぎの確保に向けて、安定した運営を行う。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	墓地公園管理事業
-----	----------

担当課	生活環境課
-----	-------

記入日	平成30年6月5日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	II	II 安全、安心、快適に暮らせるまち
基本施策	13	(13) 墓地・斎場の整備
主要施策	②	②墓地の確保と適切な維持管理

会計	01	一般会計
款	20	衛生費
項	05	保健衛生費
目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 市民が市営墓地を安心して使用できるよう適正な維持管理を行う。	民間等の墓地を利用することが困難な市民に、市が墓地を整備して提供するとともに、墓地、埋葬等に関する法律に基づいて適正な墓地を形成する事業である。	計画額	0	0	14,669	9,663	24,332	—	—
			当初予算額	0	0	14,920	7,844	22,764		
			決算額	0	0	13,608	3,205	16,813		
H27	〇市営墓地の管理運営 〇墓地の改葬等の許可 〇共同墓地整備事業補助金の交付 〇墓地管理組合等支援	〇市営墓地の維持管理を行った。 〇竹林の里墓地公園の区画造成を実施し、使用者を公募した。	計画額	0	0	5,069	7,137	12,206	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	5,069	7,137	12,206		
			決算額	0	0	7,420	3,205	10,625		
H28	〇市営墓地の管理運営 〇墓地の改葬等の許可 〇共同墓地整備事業補助金の交付 〇墓地管理組合等支援	〇市営墓地の維持管理を行った。 〇広報、ホームページにより市営墓地の公募を行い、利用者の増加を図った。	計画額	0	0	3,200	800	4,000	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	3,129	1,221	4,350		
			決算額	0	0	3,592	0	3,592		
H29	〇市営墓地の管理運営 〇墓地の改葬等の許可 〇共同墓地整備事業補助金の交付 〇墓地管理組合等支援	〇市営墓地の維持管理を行った。 〇広報、ホームページにより市営墓地の公募を行い、利用者の増加を図った。	計画額	0	0	3,200	863	4,063	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	3,689	-587	3,102		
			決算額	0	0	2,596	0	2,596		
H30	〇市営墓地の管理運営 〇墓地の改葬等の許可 〇共同墓地整備事業補助金の交付 〇墓地管理組合等支援		計画額	0	0	3,200	863	4,063		
			当初予算額	0	0	3,033	73	3,106		
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	市営墓地の使用許可の区画数	市営墓地の使用許可の区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	区画	計画値	2,246	計画値	2,260	計画値	2,275	計画値	2,290	
					実績値	2,245	実績値	2,261	実績値	2,270	実績値		
活動指標	市営墓地全区画の数	市営墓地の全区画数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	区画	計画値	2,492	計画値	2,492	計画値	2,492	計画値	2,492	
					実績値	2,492	実績値	2,492	実績値	2,492	実績値		
成果指標	市営墓地管理不全区画割合	全区画数に対する管理不全区画数の割合 (毎年7月下旬に調査を行っており、管理不全区画とは、使用許可をしている区画のうち、雑草が生えるなど適正な管理をしていない区画をいう)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	2.4	計画値	2.1	計画値	1.8	計画値	1.4	
					実績値	1.9	実績値	1.6	実績値	1.7	実績値		
成果指標	市営墓地利用率	市営墓地の全区画の数に対する使用許可の区画数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	91.5	計画値	92.1	計画値	92.7	計画値	93.3	
					実績値	90.1	実績値	90.7	実績値	91.1	実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点	5点	25点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	○市営墓地の使用状況を調査し、不適切な使用者に対して適正な管理を通知する。 ○市営墓地の区画整備について、今後の状況に応じて墓地の造成を検討し、適切な区画の確保を行う。						民間等の墓地を利用することが困難な市民に、市が墓地を整備して提供するとともに、墓地、埋葬等に関する法律に基づいて適正な墓地を形成する。						